1/16ページ

別紙-1 契約管理番号:

工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 考査項目 細別 1. 施工体制 I. 施工体制一般 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 不適切である やや不適切である ●評価対象項目 □ 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・・・・・e □ 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d ■ □ 施工体制一般について指示事項が無い。 ■ □ 施工計画書を工事着手前に提出している。 □□ 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 ■ □ 関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施している。 □□ 元請が下請の作業成果を検査している。 ■ □ 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 □□ 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 ■ □ 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 □ □ 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 □□機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が80%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。 *施工体制一般とは、現場代理人等指定通知書、工事カルテ、建設業退職金共済制度等、施工状況報告書 施工体制台帳・施工体系図、建設業許可標識を指す。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 2/16ページ 別紙一1 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 考查項目 2 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 不適切である 1. 施工体制 Ⅱ. 配置技術者 やや不適切である (現場代理人等) ●評価対象項目 □ 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・・・・・e □ 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d 【全体を評価する項目】 ■ □ 配置技術者について指示事項が無い。 ■ □ 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 【現場代理人を評価する項目】 ■ □ 現場代理人が、工事全体を把握している。 □□ 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。 ■ □ 監督員への報告を適時及び的確に行っている。 【監理(主任)技術者を評価する項目】 ■ □ 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 ■ □ 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 ■ □ 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 □□下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 ■ □ 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が90%以上・・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が80%以上90%未満・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が80%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。 *配置技術者とは、現場代理人、監理·主任技術者の専任制を指す。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 3/16ページ 別紙一1 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 考査項目 細別 d 2. 施工状況 I. 施工管理 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない やや不適切である 不適切である ●評価対象項目 □ 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・・・・・e □ 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d ■ □ 施工管理について指示事項が無い。 ■ □ 施工計画書が設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 □□ 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 ■ □ 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 ■ □ 日常の出来形管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 ■ □ 日常の品質管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 ■ □ 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 ■ □ 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。 ■ □ 工事打合せ簿を不足無く整理している。 □□ 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 ■ □ 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 □□その他(理由: ●判断基進 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が90%以上・・・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)

計算の値で評価する。

*施工管理とは、設計図書の照査等、施工計画書、工事の着手、建設副産物及び建設廃棄物、指定建設機械類の確認を指す。

③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数()

④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

評価値が80%以上90%未満・・・・b

評価値が80%未満・・・・・・c

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 4/16ページ 別紙一1 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 考査項目 2. 施工状況 Ⅱ. 工程管理 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない やや不適切である 不適切である ●評価対象項目 □ 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・・・・・e □ 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d ■ □ 工程管理について指示事項が無い。 ■ □ 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 ■ □ 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 □□ 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 □ □ 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 □□ 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 ■ □ 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 ■ □ 休日の確保を行っている。 ■ □ 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が90%以上・・・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が80%以上90%未満・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が80%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

5/16ページ 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 別紙一1 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 細別 考查項目 d 2. 施工状況 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 不適切である Ⅲ. 安全対策 やや不適切である ●評価対象項目 □ 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・・・・・・e □ 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d ■ □ 安全対策について指示事項が無い。 ■ □ 災害防止協議会等を1回/月以上行っている。 ■ □ 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。 ■ □ 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。 ■ □ 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 □□ 過積載防止に取り組んでいる。 ■ □ 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 ■ □ 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 □□ 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が90%以上・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が80%以上90%未満・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が80%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。 *安全対策とは、安全活動、安全パトロールの指摘事項の処理を指す。

_

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 6/16ページ 別紙-1 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 考査項目 2. 施工状況 ほぼ適切である 他の評価に該当しない Ⅳ. 対外関係 適切である やや不適切である 不適切である ●評価対象項目 □ 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・・・・・e □ 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d ■ □ 対外関係について指示事項が無い。 ■ □ 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 ■ □ 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 ■ □ 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 □□関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 ■ □ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が90%以上・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が80%以上90%未満・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が80%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 7/16ページ 別紙一1 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。 (監督員) 工種 考査項目 細別 d 3. 出来形及び 機械設備 Ⅰ. 出来 出来形の測定が、必要な測定 出来形の測定が、必要な測定 出来形の測定が、必要な測定項目に 出来ばえ 工事·電 項目について所定の測定基準 気設備工 ついて所定の測定基準に基づき行わ 項目について所定の測定基準 に基づき行われており、測定値 れており、測定値が規格値を満足し、 に基づき行われており、測定値 文書で改善指示を行った 改造請求を行った 事•雷気 が規格値を満足し、そのばらつ そのばらつきが規格値の概ね50%以 が規格値を満足し、a、bに該当 通信工 きが規格値の概ね80%以内で 内である。 事•管工 ある。 事以外 ●評価対象項目 □ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った 上記該当項目があれば・・・・・e □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・d □ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 上記該当項目があれば・・・・a □ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 上記該当項目があれば・・・・・b □ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 上記該当項目があれば・・・・・c ①出来形の評定は、工事全般を通したものとする。 ②出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準 及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当 該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で 出来形管理を行うものである。 ④出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。

_

8/16ページ

別紙-1 契約管理番号:

	工事名	:					
[記入方法]評価	対象項目は	た口にレマ	'ーク、評価項目は右口にレマーク	を記入する。			(監督員)
考査項目	細別	工種	а	b	С	d	е
3. 出来形及び	I. 出来	機械設備	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	文書で改善指示を行った	改造請求を行った
出来ばえ	形	工事	●評価対象項目				
			□ 契約書第17条に基づ	き、監督員が改造請求を行った	<u>:</u>		
			上記該当項目があれ	ば・・・・・・e			
			口 出来形の測定方法又	は測定値が不適切であったため)、監督員が文書で改善指示を行	った。	
			上記該当項目があれ	ば・・・・・・・d			
			■□ 設備全般にわたり、形 ■□ 施工管理基準の撮影 ■□ 設計図書で定められて ■□ 不可視部分の出来形 □□ 塗装管理基準の塗膜 □□ 溶接管理基準の出来 □□ 社内の管理基準に基	状及び寸法の実測値が許容範記録が撮影基準を満足している こいない出来形管理項目につい を写真撮影している。 厚管理を適切にまとめている。 形管理を適切にまとめている。 づき管理している。 こいる予備品に不足が無い。		ะเงล.	ている。
			●判断基準 評価値が80%以上・・ 評価値が60%以上80% 評価値が60%未満・・	未満 ・・・・b	②削除項目のある場合は削入 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=()評価数/	5、評価対象外の項目は削除する 余後の評価項目数を母数として記 / 評価対象項目数() 項目数が2以下の場合はc評価と	十算した比率(%)

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 9/16ページ 契約管理番号: 別紙一1 工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 考査項目 工種 ほぼ適切である 他の評価に該当しない 改造請求を行った 3. 出来形及び I. 出来 電気設備 適切である 文書で改善指示を行った 出来ばえ 工事・ ●評価対象項目 電気通信 □ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った 設備工 上記該当項目があれば・・・・・・・e 事∙ 受変電設 備工事 □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d □ □ 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 ■ □ 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 ■ □ 不可視部分の出来形を写真撮影している。 □□ 設計図書に定められていない出来形管理項目について監督員と協議の上で管理している。 ■ □ 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 ■ □ 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 ■ □ 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 ■ □ 測定機器のキャリブレーションを、定期的に実施している。 ■ □ 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 ■ □ 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ 社内の管理基準に基づき管理している。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が80%以上・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が60%以上80%未満 ・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が60%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

10/16ページ

10

別紙一1

契約管理番号:

工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する (監督員) 考査項目 細別 工種 b 3. 出来形及び 他の評価に該当しない I. 出来 管工事 適切である ほぼ適切である 文書で改善指示を行った 改造請求を行った 出来ばえ ●評価対象項目 □ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った 上記該当項目があれば・・・・・・・e □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d □ □ 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 ■ □ 測定、試験結果等が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 ■ □ 不可視部分の出来形を写真撮影している。 □□ 設計図書に定められていない出来形管理項目について監督員と協議の上で管理している。 ■ □ 出来形の形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 ■ □ 工事書類、各種台帳等が適切にまとめられている。 ■ □ 土木工事の出来形管理基準で必要とされる管理項目を全て管理している。 □□ 社内の管理基準に基づき管理している。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が80%以上・・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が60%以上80%未満・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が60%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

考査項目別運用表(土木)総ページ【10/108】

11/16ページ

別紙-1 契約管理番号: 工事名:

[記入方法]該当	<u>する項目の</u>	ロにレマー	-クを記入する。				(監督員)
考査項目	細別	工種	а	b	С	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	工事・機 械設備工	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以下ある。	基づき行われており、測定値が		文書で改善指示を行った	改造請求を行った
		工事・	●評価対象項目	1612	,		
		電気通信	□ 契約書第17条に基づ	き、監督員が改造請求を行った	<u>:</u>		
		工事·受 変電設備 工事·管	上記該当項目があれ	'ಸೆ·····e			
		工事以外	□ 品質関係の測定方法	又は測定値が不適切であったた	とめ、監督員が文書で改善指示を行	うった。 うった。	
			上記該当項目があれ	ば・・・・・・d			
			□ 品質関係の試験結果	が規格値、試験基準を満足し、「	ばらつきが規格値の概ね50%程度	長以内である。	
			上記該当項目があれ	ば・・・・・・a			
			□ 品質関係の試験結果	が規格値、試験基準を満足し、	ばらつきが規格値の概ね80%程度	度以内である。	
			上記該当項目があれ	ば・・・・・・b			
			□ 品質関係の試験結果	が試験基準を満足し、a及びbに	該当しない。		
			上記該当項目があれ	'å······c	②品質とは、設計図書に示 ③品質管理とは、「土木工 及び規格値に基づく全で 体系である。なお、当該	般を通じて評定するものとする 示された工事目的物の規格である。 事施工管理基準」の試験項目 この段階における品質確保のが 管理基準によりがたい場合等は 質管理を行うものである。 合は「c」評価とする。	ある。 、試験基準 cめの管理

契約管理番号: 工 事 名:

Ⅱ. 品質 維持・修

工種

繕工事

細別

[記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。

該当項目が6項目以上・・・a 該当項目が4項目以上・・・b 該当項目が3項目以下・・・c

ただし、評価対象項目は最大8項目とする。

●評価対象項目

□□理由: □□理由: □□理由: □□理由:

●判断基準

注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。

別紙一1

出来ばえ

考査項目

3. 出来形及び

. 評価項目は右口にレマークを	記入する。			(監督員)
а	b	С	d	е
適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	文書で改善指示を行った	改造請求を行った
評価対象項目 ロ 契約書第17条に基づき	、監督員が改造請求を行った。	,		
上記該当項目があれば	•••••			
□ 品質関係の測定方法又	は測定値が不適切であったたる	め、監督員が文書で改善指示を行	うった。	
上記該当項目があれば	d			
	速に対応している。 し、現地状況を勘案し、施工方	法や構造について提案を行うなと を勘案した提案等を行っている。	、積極的に取り組んでいる。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

12

12/16ページ

13/16ページ

13

別紙一1 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 考査項目 細別 工種 С d 3. 出来形及び Ⅱ. 品質 機械設備 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 文書で改善指示を行った 改造請求を行った 出来ばえ 工事 ●評価対象項目 □ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・e 口 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d ■ □ 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)の内容が設計図書の仕様を満足している。 ■ □ 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保している。 □□設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 □□機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 □□ 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 □□ 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 □ □ 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性にすぐれている。 ■ □ 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。 ■ □ 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。 □□ 設備の取扱説明書を工夫している。 □□完成図書(取扱説明書)に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに簡所を明示している。 □ □ 機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 □□ 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。 □ □ 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。 □□ バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 □□計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 □□回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。 □ □ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □□ 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が80%以上・・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が60%以上80%未満 ・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が60%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 14/16ページ 別紙一1 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 (監督員) 考查項目 電気設備 3. 出来形及び Ⅱ. 品質 適切である ほぼ適切である 他の評価に該当しない 文書で改善指示を行った 改造請求を行った 出来ばえ 工事・ 電気通信 ●評価対象項目 設備工 □ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った 事∙ 受変電設 上記該当項目があれば・・・・・・・・e 備工事 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・d ■ □ 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 ■ □ 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 □□機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。 □ □ 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。 ■ □ ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 ■ □ 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。 ■ □ 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 ■ □ 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 □ □ 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 □□ 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。 □□ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 □□ 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が80%以上・・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が60%以上80%未満 ・・・・b 計算の値で評価する。 評価値が60%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

15/16ページ

別紙-1 契約管理番号: エ 事 名: [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。

(監督員)

15

<u>考查項目</u>	細別	工種	a a	h	С	4	<u> </u>	
<u>- ろ且頃日</u> 3. 出来形及び	Ⅱ.品質		<u> </u>	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	文書で改善指示を行った	改造請求を行った	
来ばえ	-		●評価対象項目	、監督員が改造請求を行った		, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	300 HIVE C 13 F 10	
			上記該当項目があれば・・・・・・・・e					
			│ │ □ 品質関係の測定方法又 │	は測定値が不適切であったた	とめ、監督員が文書で改善指示を	行った。		
			上記該当項目があれば	ţd				
			■ □ 機材の品質、機能及び ■ □ 土木工事で品質管理基 ■ □ 品質管理計画による品 ■ □ 施工の品質、形状が適 ■ □ 施工時の試験及び記録	の結果が、品質保証書等(現: 性能が、設計図書を満足し、道 準で必要とされている管理項 質管理記録が整備されている 切で良好な施工である。 計が適切である。 で、通水状況、水圧試験等の	00			
			評価値が80%以上・・ 評価値が60%以上80%	未満・・・・b	②削除項目のある場合は削 計算の値で評価する。	ち、評価対象外の項目は削除する 除後の評価項目数を母数として記		
			評価値が60%未満・・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	③評価値(%)=()評価数。 ④なお、削除後の評価対象項	/評価対象項目数() 頁目数が2以下の場合はc評価と	する。	

考査項目別運用表(土木)総ページ【15/108】

16/16ページ

16

別紙一1 契約管理番号:

工 事 名: [記入方法]該当する項目の口にレマークを記入する。 (監督員) 考杳項目 細別 5. 創意工夫 I. 創意工夫 【施工】 □ 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。 □コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 □ 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。 □ 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 □ 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 □ 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 □ 照明などの視界の確保に関する工夫。 □ 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 □ 運搬車両、施工機械等に関する工夫。 □ 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 □ 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 □ 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。 □ 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 □ 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。 □ ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。 ※本項目は2点の加点とする。 □ 特殊な工法や材料を用いた工事。 □ 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。 □ その他(理由: 【新技術活用】 「新技術活用」においては、以下の項目により複数の技術の評価を可能とするが最大3点の加点とする。 以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表を確認 した上で評価する。ただし、加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わな いものとする。 □(該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果 が相当程度確認できた。 ※本項目は3点の加点とする。 □(該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の 効果が一定程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。 □ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果 が従来技術と同程度である。 ※本項目は1点の加点とする。 □(該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。 □ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 ※本項目は1点の加点とする。 □ぐんまの環境新技術等若しくは群馬県建設工事関連新技術等を技術提案、施工承認等で採用し施工した場合 ※本項目は3点の加点とする。 □ その他(理由: ※ ここで「有用とされる技術」とは「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「有用とされる技術」をいう。 ※ 複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが最大3点の加点とする。複数の技術が同

工事成績採点の	考査項目別運用:	表(H29.4.1)【土木】					
	I	一の評価項目に	該当した場合、該当技術数に対	し各項目の加点点数を掛ける	合わせたものを評価の点数	とするが、この場合も最大な	3点の加点とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(H29.4.1)【土木】

	【品質】 □ 土工、設備、電気の品 □ コンクリートの材料、打 □ 鉄筋、PCケーブル、コ □ 配筋、溶接作業等に関 □ その他(理由:	T設、養生に関する工夫。 コンクリートニ次製品等の使用材料に関する工夫。
	※本項目は2点の加点 口安全を確保するための 口安全教育、技術向上講 口現場事務所、労務者宿 口有毒ガス並びに可燃力	D仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) 構習会、安全パトロール等に関する工夫。 富舎等の空間及び設備等に関する工夫。 ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 善に関する工夫。
記述評価(レマークを付した)価内容を詳細記述		詳細評価内容欄
※3. 該当する数と重みを勘案して記	点が付されれば1、2、3点で評価し、最	内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。

別紙一2	契約管理番号:		工事成績	責採点の考査項目の考査項目別以	重用表	1-2/7ページ
	一 西対象項目は左口にレ	マーク、評価項目は右口にレマークを	記入する。			(担当係長)
考査項目	細別	a	b	С	d	e 1
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		□□地元及び関係機関との記録を表現である。 □□ 工程管理を適切に行なるでは、 □□ 工程管理に係る積極的に対象をできません。 □□ 災害復旧工事など特に □□ 工事施工箇所が広範囲 □□ その他(理由:	調整に取り組み、遅れを発生さったことにより、休日や夜間エーな取り組みが見られた。 エ期的な制約がある場合におり	を発生させることなく工事を完成させた。 なせることなく工事を完成させた。 事の回避等を行い、地域住民に公いて、余裕をもって工事を完成させ 工程管理を的確に行い、余裕をも)	- 共工事に対する好印象を与 <i>え</i> -た。	.t=.
		a	b	С	d	e 1
	Ⅲ. 安全対策	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		●評価対象項目 □□建設労働災害及び公衆 □□安全衛生を確保するため □□安全衛生を確保するため □□安全対策に関する技術 □□安全対策に関する技術 □□安全対策に係る取り組み □□その他(理由:	めの管理体制を整備し、組織的 め、他の模範となるような活動り 開発や創意工夫に取り組んだ 積極的に取り組んだ。 みが地域から評価された。	的に取り組んだ。 こ積極的に取り組んだ。 。		
		上記該当項目を総合的 	に判断して、a、b、c、d、e評価 	iを行う。 		

考査項目別運用表(土木)総ページ【19/108】

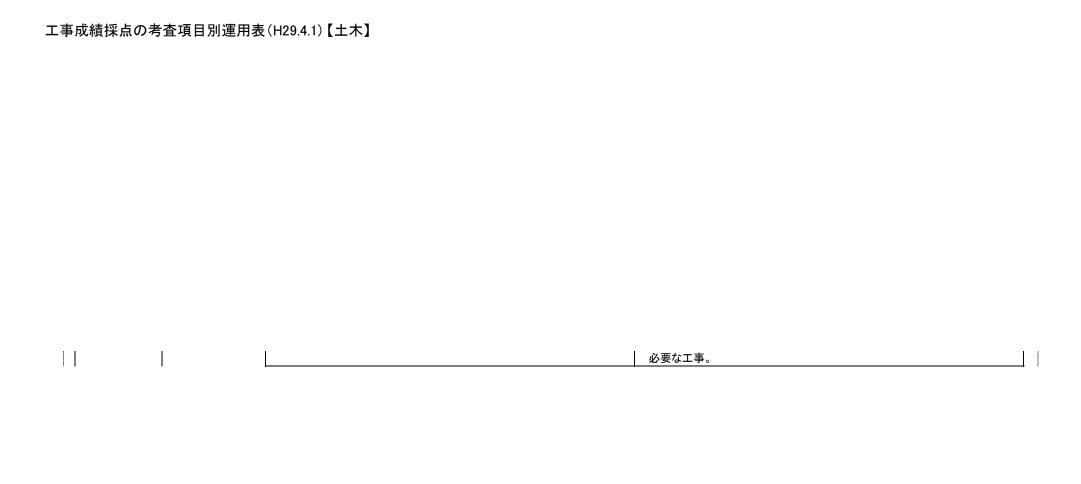
3/7ページ

19

別紙-2

契約管理番号: 工 事 名:

	細別	対応事項	
[記入方法]該 <u> 考査項目</u> 4. 工事特性	当する項目の口にレマーク細別 I.施工条件等への対応		(担当係長) 【事例】具体的な施工条件等への対応事例 (1.について) [共通] 切土の土工量:20万m3以上、盛土の土工量:15万m3以上、護岸・築堤の平均高さ:10m以上、トンネル(シールド)の直径:8m以上、ダム用水門の設計水深:25m以上、樋門又は樋管の内空断面積:15m2以上、揚排水機場の吐出管径:2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長:25m以上、堰又は水門の径間数:3 径間以上、堰又は水門の扉体面積:50m2/門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ:20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積:100m2以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積:300m2以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深:10m以上、地滑り防止工:幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量:100万m3以上、流路工の計画高水流量:500m3以上、砂防・治山ダムの堤高:15m以上、ダムの堤高:150m以上、転流トンネルの流下能力:400m3/s以上、橋梁下部工の高さ:30m以上、橋梁上部工の最大支間長:100m以上、[環境森林] ・切土及び盛土の合計土工量:5万m3以上・橋梁上部工最大支間長:30m以上・・本道開設延長:1500m以上 ・橋梁上部工最大支間長:30m以上・・・対土及び盛土の合計土工量:5万m3以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			 ・山腹工施工面積:1ha以上 ・橋梁下部工高さ:15m以上 ・橋梁上部工最大支間長:30m以上 ・林道開設延長:1500m以上 [農政] ・切土及び盛土の合計土工量:5万m3以上 ・開水路工流量:20m3/s以上
			・推進工の管径(羽口、泥水加圧):2000mm以上 ・頭首工径間数:4以上 ・ゲート工面積:50m2以上 ・水路トンネル(従来工法) 高さ:H>4m、又はH<1.8m (2.について) [共通] ・砂防・治山工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚
			・妖道に隣接した福岡の間長福強工事又は河道内の加水品における福岡の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3.について) [共通] ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が



工事成績採点の考査項目別運用表(H29.4.1)【土木】

		Ⅱ作業環境、社会条件等への対応□ 4.地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事□ 5.周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事	(4.について) [共通] ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 [農政] ・供用中のトンネル等の直上での工事。
		□ 6.周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 □ 7.現道上での交通規制に大きく影響する工事 □ 8.緊急時に対応が特に必要な工事 □ 9.施工箇所が広範囲にわたる工事	(5.について) [共通] ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に 特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 [農政] ・通水中の水路等の工事
		□ 10.その他 (理由:)	(6.について) [共通] ·市街地での夜間工事。 ·DID地区での工事。
***************************************		※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば 6点の加点 とする。	(7.について) [共通] ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を 日々行った工事。
			(8.について) [共通] ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。
			(9.1cついて) [共通] ・作業現場が広範囲に分布している工事。
***************************************			(10.について) [共通] ・施エヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。

『 成績採点の考査項目別運用表	튁(H29.4.1)【土木】		(11.について)
	□ 13.急峻な地形及び土石)対応が必要な工事 食等の自然条件の影響が大きな工事	[共通] ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。
	(理由:)	(12.について) [共通] ・河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が
	※上記の対応事項に16	つ以上レ点が付けば4 点の加点 とする。	多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 ・集中豪雨による災害又は積雪等により工程や施工方法に制約を受けた工事にもかかわらず当初工期内で完成させた。 (13.について) [共通] ・急峻な地形のため、作業構台や作業床・施工ヤードの設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 ・主たる工種で山林砂防工が適用となる箇所の工事。 [環境森林] ・治山工事で山地災害危険地区に指定された区域内における工事。 ・山腹工事でケーブルクレーンやモノレールなどの運搬手段に制限があり、機使用など施工に制約を受けた工事(法面工は除く)。 ・山腹工事で床堀等が人力以外に不可能である工事。 (14.について) [共通] ・貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15.について) [共通] ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認めら
	中止期間は除く) ※但し、文書注意に至ら □ 17.その他()	用で、事故がなく完成した工事(全面一時	工事。 (16.について) [共通] ・長期工事 例えば(設計工期15ヶ月間等)や変更事由が発生して15ヶ月間になった場合で、現場での工期が12ヶ月を超えた工事。
I I	- ベエ龍の別心事場にし	ンダイレボルコンは0点の加えてもの。	

工事成績採点の考査項目別運用表(H29.4.1)【土木】

別紙-1	契約管理番号:		工事成績	採点の考査項目の考査項目別	運用表	4/7ページ	
	工 事 名:						
[記入方法]評価	対象項目は左口にレマ	<u>マーク、評価項目は右口にレマークを</u>	記入する。			(担当係長)	
考査項目	細別	а	a'	b	b'	С	20
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	優れている	bよりも優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	
		□□ 定期的に広報紙の配布 □□ 道路清掃などを積極的 □□ 地域が主催するイベント □□ 災害時などにおいて、地□□ その他(理由:	の環境を周辺地域との景観にお や現場見学会等を実施して、積	極的に地域とのコミュニケーシミュニケーションを図った。 ミュニケーションを図った。 る救援活動への積極的な協力を)	ョンを図った。		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 5/7ページ 別紙-2 契約管理番号: 工 事 名: [記入方法]該当する項目の口にレマークを記入する。 (担当係長) 法令遵守等の該当項目一覧表 考査項目 7. 法令遵守等 (工事事故等に 措置内容 点数 よる減点) □ 1. 指名停止3ヶ月以上 -20点 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満 -15点 □ 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満 -13点 □ 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満 -10点 □ 5. 文書注意 --8点 □ 6. □頭注意 -5点 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な 一3点 程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合 8. 項目該当なし ①本考査項目(7.法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。 ②「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 ③「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、 それを履行するために従事する者に限定する。 【上記で評価する場合の適応事例】 □ 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 □ 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 □ 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。。 □ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 □ 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 □ 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 □ 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 □ 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に 違反する行為がある。 □ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検等された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明 した。 13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、 砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 □ 14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。

別紙-2	工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 契約管理番号:	6/7ページ
	英州音程番号: 工事 名: する項目の口にレマークを記入する。 総合評価の該当項目一覧表	(担当係長)
(総合評価による減点)	下請計画の不履行	
	"下請計画の不履行"で該当する事例は、「総合評価落札方式評価項目"下請または県内企業下請の有無"で加点評価を受けた記載内容 に適用する。	が履行されなかった」場合

工事成績短占の	考查項目別運用表	(H20 / 1)	$(+ \pm 1)$
上 事 水 相 休 思 ひ	右旬坦日川浬田衣	(HZ9.4.1)	$\mathbf{L} = \mathbf{A} \cdot \mathbf{L}$

(担当係長)

総合評価

1/77ページ

別紙一3

契約管理番号:

工事名: / 松木昌 \

		くーク、評価項目は石口にレィークを	記入りる。			<u> (</u>					
考査項目	細別	а	b	С	d	e					
2. 施工状況	I. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている					
		●評価対象項目 □ 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。									
		上記該当項目があれば・・・・・・・e									
		□ 施工管理について、監督	予員が文書による改善指示を 行	行った。							
		上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
1											
		■ □ 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 ■ □ 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 □ □ 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。									
		□□施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 □□下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 ■□関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 □□工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 □□社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 □□その他(理由: ○判断基準 □当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)									
		評価値が80%以上90%未満・・・・・b 評価値が80%未満・・・・・・c ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。									

2/77ページ

別紙-3 契約管理番号:

考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е
出来形及び出来ばえ		工事· 電気設備 工事·	必要な測定項目について所定の測定項目について所定の測定を基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね5	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する	出来形の測定項の測定項の測定項の測定項の測定項の測定項の測定項の測定項をきたでは基準におり、値が現格が、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現格のでは、現代の対象のでは、現代の対象は、は、現代の対象は、現代の対象は、	必要な測定項目に ついて所定の測定 基準に基づき行わ れており、測定値	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	文書による改善指示を行った。	文書による改善指示に 従わなかった。
	●評価対象項目 □出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 通じて評定するものとする。 に示された工事目的物の形状 に工事施工管理基準」の測定項	(目、測定基準である。	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 3/77ページ 別紙一3 契約管理番号: 工 事 名: (検査員) [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 考查項目 工種 b 機械設備 やや優れて 他の評価に該当しな cより優れている 3. 出来形及び I. 出来 優れている bよりも優れている やや劣っている 劣っている 工事 出来ばえ ●評価対象項目 □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・e □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば・・・・・・・d □ □ 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 ■ □ 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 ■ □ 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 □ □ 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 ■ □ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 □□ 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 □□ 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 □□ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 □□ 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 □□分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が90%以上・・・・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が80%以上90%未満・・・・・ a 評価値が70%以上80%未満・・・・・b 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() 評価値が60%以上70%未満・・・・・ b ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。 評価値が60%未満・・・・・・・・・

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 4/77ページ 別紙一3 契約管理番号: 工 事 名: (検査員) [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 工種 27 考查項目 h d С е 電気設備 やや優れて 他の評価に該当しな 3. 出来形及び I. 出来 優れている bよりも優れている cより優れている やや劣っている 劣っている エ事・ いる 出来ばえ 電気通信 ●評価対象項目 設備工 □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 事• 受変電設 上記該当項目があれば・・・・・・・・e 備工事 □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば・・・・・・・・d □ □ 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 □□機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 ■ □ 写真管理基準の管理項目を満足している。 ■ □ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 □□ 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 ■ □ 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 ■ □ 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 ■ □ 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 ■ □ 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 ■ □ 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 □□その他(理由: ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・a ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 評価値が80%以上90%未満・・・・・ a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) 評価値が70%以上80%未満・・・・・b 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() 評価値が60%以上70%未満・・・・・b 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

	工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表								
別紙一3	契約管理	番号:							
	工 事 名	:							(検査員)
			ーク、評価項目は	右口にレマークを記入す	る。	_			
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び	I. 出来	管工事	優れている	bよりも優れている	やや優れて	cより優れている	他の評価に該当しな	やや劣っている	劣っている
出来ばえ	形		●評価対象ℷ	項目					a.
				出来形の測定方法又は上記該当項目があれば			を査員が修補指示を行った		
				出来形の測定方法又は 上記該当項目があれば			督員が文書で指示を行り	い改善された。	
				出来形管理が容易に把想					
				写真管理基準の管理項				HEIRO CC Uo	
				不可視部分の出来形が	写真で確認で	きる。			use control of the co
				設計図書で定められてし	ない出来形管	理項目について、	監督員と協議の上で管理	していることが確認できる。	
				出来形の形状、寸法の写	ミ測値が許容筆 かっこう しょうしん かんしょう しょうしん かんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	節囲内であることが	確認できる。		
				土木工事の出来高管理	基準で必要とさ	れる管理項目を全	€て管理していることが確	認できる。	
				施工図面、各種台帳等に	こ工夫が見られ	しる。			
				配管等について、設計図	書の仕様を満	足していることが研	寉認できる。		
				社内の管理基準に基づ	き管理している	ことが確認できる。			
				その他(理由: 判断基準)		
				評価値が90%以上・・		· · · a ①	当該「評価対象項目」の	うち、評価対象外の項目は削隊	余する。
				評価値が80%以上90%:	未満・・・・	· · · a' 2	削除項目のある場合は削	削除後の評価項目数を母数とし	して計算した比率(%)
				評価値が70%以上80%:			計算の値で評価する。		- Commonwealth of the Comm
				評価値が60%以上70%:	1 -41- 4		評価値(%)=()評価数		a voca
				評価値が60%未満・・		· · · c 4	なお、削除後の評価対象	は項目数が2以下の場合はc評	価とする。

^^

Dil 6th O	±11.66.66.±00	₩ □				工事成績採点の考	・査項目の考査項目別選	重用表	6/77ページ			
別紙一3	契約管理								(検査員)			
[記入方法]評価			ーク、評価項目は	右口にレマークを記入す	る。							
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	コンクリート 構造物工	準参照>[関連基	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った ※ばらつきの判断は別紙-4参照。								
		●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。										
			上記該	5当項目があれば・・・・・	••••е							
			□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。									
			上記該当項目があれば・・・・・・・d									
			ー 化物料 □ □ □ 圧縮強 □ □ □ □ コンクリ □ □ □ コンクリ □ □ □ コンクリ	『重、単位水重、アルカリ リート受け入れ時に必要 注度試験に使用したコンク さ件や気象条件に適したう 及び暑中コンクリート等を	育材 反応 が は で で で で で に で に で に で に で に に で に で に に に に に に に に に に に に に	等)が催認できる。 しており、温度、スラ が、当該現場の供記 と時の投入高さ及び に達した後に型枠。 同に行っていることが 害物が鉄筋に付着し	ンプ、空気量等の測定線体であることが確認でき締固め方法が、定められ 及び支保工の取り外しを が確認できる。 ないよう管理しているこ	きる。 れた条件を満足していることか :行っていることが確認できる	「確認できる。			
			□ □ 圧接作 □ □ コンク! □ □ スペー	業にあたり、作業員の技 リートの養生が、設計図 サーの品質及び個数が たクラックが無い。	t量確認を行っ 書の仕様を満足	ていることが確認て 足していることが確認	きる。 忍できる。					

工事成績採点の考査項目別運用表(H29.4.1)【土木】

※上記該当項目を評価した後、」	认下のばらつきの評価をしてください。
- / E>	

- □ ばらつき 50%以下
- □ ばらつき 80%以下
- □ ばらつき 80%超
- □ ばらつきで判断不可能

●判断基準

		ばらつき	ばらつきで判断		
		50%以下	80%以下	80%を超える	不可能
≣π	90%以上	а	a'	b	b
評価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未满	b	b'	С	С
쁘	60%未満	b'	С	С	С

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率
- (%)計算の値で評価する。
- ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と する。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

7/77ページ

別紙-3 契約管理番号

別紙一3	工事 名	i:							(検査員)
[記入方法]評価 考査項目	対象項目に │ 細別	<u>は左□にレ⁻</u> │ エ種	マーク、評価項目はす	<u>5口にレマークを記入・</u> a'	<u>する。</u> ┃ b ┃	b'	С	d	e
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	土工事 (切土、盛 土、築堤	品質関係の試験結	果のばらつきと評価対 土木工事施工管理基			 判断する。<判断基準	文書で指示を行った	修補指示を行った
		土、築堤等工事)	※ は	は別紙ー4参照。 係の測定方法なば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定値が不ってする。 では、一ではが不ってです。 では、一ではが、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	うったため、検査を うったため、監督を を実できることが。 でいることが。でいることがをもるったが。 ででで行っている。 を条件ででできとが。 でいることが。 でいることが。 でいることが。 でいることが。 でいることが。 でいることが。	はが修補指示を行った。 はが文書で指示を行いされていることが確認できる。 にたが確認できる。 にとが確認できる。 なことが確認できる。 なことが確認できる。 ないきる。 が確認できる。 が確認できる。 が確認できる。	対善された。 認できる。	よ削除する。 数として、比率
			値 60%以上75%未満 60%未満 注 試験結果の	b'	С	<u>c c</u> c c c ない場合は評価	_ ④なお、削除後の計 <u>する。</u> 対象項目(評価値)だけ	平価対象項目数が2以下の場合(で評価する。	よの評価と
	1								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

8/77ページ

別紙一3 契約管理番号:

			マーク、評価項目はな	<u> 右口にレマークを記入す</u>	る。		,		(模食貝 <i>)</i>		
查項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	e		
出来形及 II. 品質 び出来ばえ	護岸・根 固め・水 制工事	準参照>[関連基	結果のばらつきと評価対 基準、土木工事施工管理 新は別紙ー4参照。				文書で指示を行った	修補指示を行った			
			●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。								
			上記該	当項目があれば・・・・・	····e						
			□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。								
			上記該	ニ記該当項目があれば・・・・・・・d							
			日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	長)工において、大きさ及の端部や曲線部の処理一トが所定の幅で重ね合で、植生の種類、品質、i、水制工、沈床工、捨て料の品質が、証明書類ではおいて、掘り過ぎが無リートブロック等を遺傷無無あたって、床堀設計図書クラックが無い。	の締固めを、2 かがする。 かがする。 がでればからないでればいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 が	空隙が生じないよう-こおける材料のかみのとはける材料のかめのといる。 図書の仕様を満足り、必要な強度及び外部、設計図書の仕様を が、設計図書の仕様を が、設計図書の仕様では、材料の連結及びが は、なが確認できる。 にとが確認できる。 は、、排のことが確認としていることが確認といることが確認といることが確認を	ト合わせ又は連結が、裏していることが確認できる、密性を確保していることがの仕様を満足していることがあたかみ合わせが設計図書のしていることが確認できる	込材の吸出しが無いよう行っる。 とが確認できる。 ことが確認できる。 確認できる。 確認できる。 の仕様を満足していることがで			
			●判断基準	ばらつき	で判断可能	ばらつきで判断	①当該「評価対象項	[目」のうち、評価対象外の項目	ま削除する。		
				50%以下		^{不可能}	②削除項目のある場	場合は削除後の評価項目数を母			
			評 90%以上	a a'	a' b	b b'	(%)計算の値で評価(%)=	西する。 ()評価数╱()評価対象Ⅰ	百日数		
			価	, a		ט			只口双		
			値 60%以上75%未満	b b	b'	СС	④なお、削除後の評	『価対象項目数が2以下の場合(まc評価と		

別紙一3	契約管理	番号:				工事成績採点の	考査項目の考査項目別:	運用表	9/77ページ
[記入方法]]評価	工事名	; i: t左口にレマ	ーク 評価項目は	右口にレマークを記入す	- る .				(検査員)
考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	鋼橋工事 (RC床版 工事はコン が一ト構造	準参照>[関連 ※ばらつきの判	検結果のばらつきと評価┆ 基準、土木工事施工管理 断は別紙−4参照。				文書で指示を行った	修補指示を行った
		物に準ずる)	●評価対象項 □ 品質関	目 関係の測定方法又は測定	[値が不適切で	あったため、検査	員が修補指示を行った。		
			上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
			上記記						
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	の種別を、いまでは、 ででであるという。 を、はいいでは、 を、はいいでは、 を、はいいでは、 を、はいいでは、 を、はいいでは、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが	を 支 力 提削 が が の か で 手 が の が で き で が の が で が る で 表 が の が の が で が る で 表 で が の が の が の で が の で が る で の の の の の の の の の の の の の	ていることが様を。から、ことがは様をのできたの生物である。 ている はいっとが はいっとが はいっとが はいっと にはい ない にいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと は	できる。 満足していることが確認できる。 はいに製作していることができる。 金装を実施していることができる。 一変をある。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 ことが確認できる。 にとが確認できる。 にとが確認できる。 にとが確認できる。 にとが確認できる。 にとが確認できる。 にとが確認できる。 には、ことがない。 には、ことがないない。 には、ことがないない。 には、ことがないない。 には、ことがないないない。 には、ことがないないないない。 には、ことがないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	確認できる。 が確認できる。 確認できる。	認できる。

٥Z

• II									
		ばらつきつ	で判断可能	È	ばらつきで判断				
		50%以下	80%以下	80%を超える	不可能				
評	90%以上	а	a'	b	b				
一価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'				
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С				
旭	60%未満	b'	С	С	С				

●判断其淮

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%)計算の値で評価する。
- ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と
- | 100%未満 | b' | c | c | する。 | する。 | 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

10/77ページ 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 別紙一3 契約管理番号: 工事名: (検査員) [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 考査項目 工種 3. 出来形及 Ⅱ. 品質 一砂防構造 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基 び出来ばえ 物工事: 準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った 修補指示を行った 治山構造 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 物工事及 ●評価対象項目 び地すべ り防止エ □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 事(抑止 杭·集水 上記該当項目があれば・・・・・・・・e 井工事を 含む) □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば・・・・・・・d 【共通】 □ □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応 抑制等)が確認できる。 □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □□ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ □ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足して いることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) □ □ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 □ □ 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 □□ 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ 有害なクラックが無い。 □□その他(理由: 【砂防構造物工事・治山構造物工事に適用】 □ □ コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 □□鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 □ □ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 □ □ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 □□その他(理由:

]	コロライナープレ	ノートと地山との隙	間が少なく	なるように施	エしているこ	していることが確認できる。 とが確認できる。 :の配慮をしていることが確認できる。
	□□ その他(理日		で一月反応	、 極正このの	スクにルニエエ	
	□ ばらつき 5 □ ばらつき 8 □ ばらつき 8 □ ばらつきで	0%以下 0%超				
_ <u>●</u> #	川断基準					
	_	ばらつき 50%以下	で判断可能 80%以下	<u>じ</u> 80%を超える	ばらつきで判断 不可能	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率
 	90%以上	а	a'	b	b	(%)計算の値で評価する。
		a'	b	b'	b'	③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数
評			b'	С	С	④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と
		b	a	C	1 -	仏なの、門体後の計画対象項目数が2以下の場合は5計画と
価値	60% 未満	b'	С	С	С	(1)なる、削除後の計画対象項目数が2以下の場合はC計画と する。 (2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4

別紙一3	契約管理番	号:				工事成績採点の	考査項目の考査項目別	運用表	11/77ページ			
	エ 事 名: 対象項目は左	- - 	一ク、評価項目は	右□にレマークを記入 ⁻	する。				(検査員)			
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е			
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質 舗	装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った ※ばらつきの判断は別紙-4参照。									
			●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
			□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。									
	上記該当項目があれば・・・・・・d											
			□□路床及□□路盤の□□路盤の□□路床盛	書に定められた試験大び路盤エのプルーフにび路盤工の密度管理が安定処理は材料が均っ施工に先立って、路床土において、一層の仕土において、構造物の	1ーリングを行って が、設計図書の代 ーになるよう施エ 面、下層路盤面 :上がり厚を20c	ていることが確認て 土様を満足している していることが確う の浮き石及び有害 m以下とし、各層こ	きる。 ることが確認できる。 認できる。 『物を除去してから施工 ごとに締固めて施工して	していることが確認できる。 いることが確認できる。 締固め機械により施工している	ることが確認できる。			
			□ □ 舗装 T □ □ プラント □ □ 舗設後 □ □ 各層の □ □ 縦継目 □ □ アスフ:	アルト混合物の品質が、の施工にあたって、上、出荷時、現場到着時、の交通開放が、定めら継ぎ目の位置が、設計及び横継目の位置が置、様アルト混合物の運搬及で理が設計図書の仕様	層路盤面の浮き 舗設時等においれた条件を満足 と関書に定められ は動きの接合配び舗設にあたって	石などの有害物を いて、アスファルト沿 していることが確 た数値以上である この処理等が、設 こ、気象条件を配慮	除去していることが確認 記合物の温度管理を記録 認できる。 ことが確認できる。	录していることが確認できる。 こいることが確認できる。				

2/

	押制等)が研りがの 日本	の配合試験及び試験系 在認できる。 エに先だって、上層路 受け入れ時に必要な記 験に使用したコンクリー T設方法及び養生方法 しないようコンクリートで がタイバーを損傷などか 目:	を整面の浮 対験を実施 一ト供試体 とが、施工 を敷均して が発生しな	きる一等のない。他にはいいます。	言害物を除え 温度、スラン 場の供試体 、象条件に 、できる できる	
	□ ばらつき 8: □ ばらつき 8: □ ばらつきで* ■ 削断基準	0%以下 0%超				
	□ ばらつき 8 □ ばらつき 8 □ ばらつきで*	0%以下 0%超 判断不可能 ばらつきで判			ばらつきで判断	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
	□ ばらつき 8 □ ばらつき 8 □ ばらつきで* ■判断基準	0%以下 0%超 判断不可能 ばらつきで判		10%を超える	不可能	②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率
	□ ばらつき 8 □ ばらつき 8 □ ばらつきで* ■判断基準	0%以下 0%超 判断不可能 ばらつきで判 50%以下 80 a	0%以下 80 a'	80%を超える b	不可能 b	②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%)計算の値で評価する。
	□ ばらつき 8: □ ばらつき 8: □ ばらつきで¥ ■判断基準 ■ 90%以上 75%以上90%未満	0%以下 0%超 判断不可能 ばらつきで判 50%以下 80 a a'	0%以下 80 a' b	10%を超える	不可能	②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数
	□ ばらつき 8 □ ばらつき 8 □ ばらつきで* ■判断基準	0%以下 0%超 判断不可能 ばらつきで判 50%以下 80 a a'	0%以下 80 a'	80%を超える b	不可能 b	②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%)計算の値で評価する。

-	+n () (工事成績採点のネ	き査項目の考査項目別:	軍用表	12/77ページ	
別紙一3	契約管理 工事名	;; ·	2 5 部件语	目は右口にレマークを記入す	- 7				(検査員)	
考查項目	<u> </u>	工種	ーク、計画項	<u> </u>	ි b	b'	С	d	е	
3. 出来形及		下水道工		a				u u	e	
び出来ばえ	ш. шд	事	準参照>[関	試験結果のばらつきと評価求 関連基準、土木工事施工管理 の判断は別紙ー4参照。				文書で指示を行った	修補指示を行った	
			●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
				₁質関係の測定方法又は測定	値が不適切で	あったため、監督員	真が文書で指示を行い改	対害された。		
			上	記該当項目があれば・・・・・	·····d					
			マ管設量 ココ施ン人舗掘 ロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ	、アルカリ骨材反応抑制等); ンクリート打設時の必要な供 ンクリート供試体が当該現場	で確認できる。 合試験及び試験が確認できる。 試体を採取し、の供試体で取し、の供機時間、打合部の取り合わ	験練りが行われてる 強度・スランプ・空: ることが確認できる 「設時の投入高さ、 つせがよい。 「適切にされている	気量等が確認できる。 。 締固時のバイブレータの機	系(強度・W/C、最大骨材粒径 終種、養生方法等、適切に行っ		
			日日 締日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	開削工】 語固めを適切な条件で施工して 葉の接合状況が良好である。 盤改良工の施工管理状況が の他(理由:	ことが確認でき	 る。	いない。)			
			□□ 割 常 田田 田	推進工】 量及び観測結果を毎日整理 に切羽及び地表面の状態を 進作業等がデータで確認でき 盤改良工の施工管理状況が の他(理由 :	観測して施工さ きる。	れていることが確		5.		

【シールドエ】 □ セグメントの規格・品質がミルシートで確認できる。 □ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 □ 二次コンクリート打設前に、付着物除去のための充分な水洗清掃を行っていることが確認できる。 □ 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 □ シールド推進作業等がデータで確認できる。 □ 泉込め注入状況がデータで確認できる。 □ 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 □ その他(理由:
【処理場・ポンプ場等のうち土木工事】 □ □ 主たる工事(概ね2/3以上を占める工事)を対応する工種で評価する。 □ □ その他(理由:)
【管更正工】 □ 管更正材が規定の付着強度で当該既設構造物に密着されていることが確認できる。 □ □ 各種耐用試験結果(曲げ強度試験他)にクリアしていることが確認できる。 □ □ 曲線部の施工では弛みが無いことが確認できる。また、施工上、やむを得ず出来た弛みも適切な方法により対処したことが確認できる。 □ □ その他(理由:
 ※上記該当項目を評価した後、以下のばらつきの評価をしてください。 □ ばらつき 50%以下 □ ばらつき 80%以下 □ ばらつき 80%超 □ ばらつきで判断不可能
ばらつきで判断可能 ばらつきで判断可能 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
50%以下 80%以下 80%を超える ^{不可能} ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 90%以上 a a' b b (%)計算の値で評価する。
部 1564以 1508年度 6'
値 60%未満 b' c c c c する。
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

FILKE O	机络类理	≖ □ .	工事成績採点の考査項目の考	查項目別運用表	13/77ページ
別紙一3	契約管理: 工 事 名 対象項目は	i:	-ク、評価項目は右口にレマークを記入する。		(検査員)
考査項目	細別	工種	a a' b b' c	d	е
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。	く判断基文書で指示を行った	修補指示を行った
			●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を行った。	
			□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指	示を行い改善された。	
			上記該当項目があれば・・・・・・・d		
			【共通】 □□施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート□□施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工し□□盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っているこ□□雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる□□その他(理由:	ていることが確認できる。 ことが確認できる。	
			【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】 □□土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 □□ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 □□ホットなどが破損を生じていないことが確認できる。 □□吹付け厚さが均等であることが確認できる。 □□使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが□□施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 □□その他(理由:	·確認できる。)	
			【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 □ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していること □ 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 □ 金網が破損を生じていないことが確認できる。 □ 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認でいる。 □ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 □ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体である。 □ 下息箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 □ 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 □ 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 □ その他(理由:	できる。	

【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】 □□使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 □□現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 □□強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □□枠内に空隙が無いことが確認できる。 □□帰間にはく離が無いことが確認できる。 □□不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 □□不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
【ロープネット工関係】 □ アンカーの施工長さが確認できる。 □ ロープ間の結束が確実にされている。 □ 浮き石の処理がなされている。 □ ロープネット材料の保管が適切である。 □ 日・その他(理由:) ※上記該当項目を評価した後、以下のばらつきの評価をしてください。 □ ばらつき 50%以下 □ ばらつき 80%以下 □ ばらつき 80%超 □ ばらつきで判断不可能
●判断基準

別紙一3	工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 契約管理番号: エ 事 名:								14/77ページ		
	対象項目に	左口にレマ	マーク、評価項目は	右口にレマークを記入	<u>する。</u>						
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	基礎工工 事及び地 盤改良工 事	準参照>[関連	6結果のばらつきと評価 基準、土木工事施工管: 断は別紙ー4参照。				文書で指示を行った	修補指示を行った		
			●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
			□ 品質関	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。							
		上記該当項目があれば・・・・・・・・d 「杭関係(コングリート・網管・網管サ管・場所は、空磁等)】									
	【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】 □□杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 □□既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 □□杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 □□水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 □□溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 □□支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 □□場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 □□場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。										
	□□ 配削深度、採山工砂、私内水位の変動及び女足液を用いる場合の私内の女足液濃度並びに比重等が、設計図書でる。 □□ 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 □□ 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 □□ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 □□ その他(理由:										
			□ □ セメン□ □ 事前に	オのバッチ管理記録が豊 トミルクの比重、スラリー ニ土質試験を実施し、改 箇所が均一に改良されて	-噴出量、強度 ^会 良材の選定、必	等の管理資料を整理 要添加量の設定等	型していることが確認で を行っていることが確認	きる。 忍できる。			

	※上記該当項目を評価した後、以下のばらつきの評価をしてください。
	□ ばらつき 50%以下
	□ ばらつき 80%以下
	- 185 L 1 + n

- □ ばらつき 80%超
- □ ばらつきで判断不可能

●判断基準

		ばらつき	で判断可能	Ė	ばらつきで判断
		50%以下	80%以下	80%を超える	不可能
=π	90%以上	а	a'	b	b
評価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
쁘	60%未満	b'	С	С	С

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%)計算の値で評価する。
- ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と する。
- 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

DILET O	±π «Α ΔΣ τπι					工事成績採点の考	き査項目の考査項目別に	軍用表	15/77ページ	
別紙-3	契約管理 工 事 名								(検査員)	
				右口にレマークを記入す		.,	I			
考査項目	細別	工種	а	a [']	b	<u>b'</u>	С	d	е	
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	コング リート橋 上部工事 (PC及び	準参照>[関連	結果のばらつきと評価対 基準、土木工事施工管理 断は別紙ー4参照。				文書で指示を行った	修補指示を行った	
		RCを対 象)	●評価対象項[□ 品質関	目 閉係の測定方法又は測定	値が不適切で	あったため、検査員	が修補指示を行った。			
			上記該当項目があれば・・・・・・・e							
			□ 品質関	係の測定方法又は測定	値が不適切で	あったため、監督員	が文書で指示を行い改	で善された。		
			上記該	は当項目があれば・・・・・	·····d					
			制等)	Jートの配合試験及び試験 が確認できる。 Jート受け入れ時に必要な				੮骨材粒径、塩化物総量、単位 結果が確認できる。	立水量、アルカリ骨材反応打	
			□ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ □ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む)							
			□ □ コンク □ □ 鉄筋の	リートの圧縮強度を管理し)品質が、証明書類で確認	ー・、必要な強り で、必要な強り できる。			しを行っていることが確認でき ・ -	る。	
			ロロコンク)引張強度及び曲げ強度 ノート打設までにさび、ど :業にあたり、作業員の技	ろ、油等の有害	物が鉄筋に付着し	ないよう管理しているこ			
			□ □ 鉄筋の □ □ コンク)組立及び加工が、設計図 リートの養生が、設計図書	図書の仕様を満 書の仕様を満足	ま足していることが? としていることが確言	確認できる。 忍できる。			
			ロロプレビ	サーの品質及び個数が、	管理が、設計	図書の仕様を満足	していることが確認でき			
			□ □ PC鋼	「る装置及び機器のキャリ 材の緊張及びグラウト注) トレッシング時のコンクリ-	入管理値が、設	と計図書の仕様を満	満足していることが確認 [:]			
			□ □ コンク	トレックング 時のコンケケー リート圧縮強度の確認は、 ミクラックが無い。						
	1		□□その他				`			
				з(∕≠ш.)			
			※上記該当 口 ばらつ	でです。 項目を評価した後、以下でき 50%以下 き 80%以下	のばらつきの評	価をしてください。)			

--

		ばらつき	きで判断可能	È	ばらつきで判断	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
		50%以下	80%以下	80%を超える	不可能	②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比
==	90%以上	а	a'	b	b	(%)計算の値で評価する。
評	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数
1 1	60%以上75%未満	b	b'	С	С	④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と
1100	60%未満	h'	С	С	С	+ 7
		数等が少なくばら	_			する。 対象項目(評価値)だけで評価する。

別紙一3	契約管理	采 旦.				工事成績採点の表	き査項目の考査項目別に	重用表	16/77ページ				
	工事名	i:							(検査員)				
			アーク、評価項目は右	口にレマークを記入す		. ,			<u>, </u>				
考査項目	細別	工種	а	a	b	b'	С	d	е				
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 前頁	塗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った 修補指示を行った ※ばらつきの判断は別紙-4参照。										
			●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。										
			上記該当	上記該当項目があれば・・・・・・・・e									
			□ 品質関係	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。									
上記該当項目があれば・・・・・・・d													
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	注用前に撹拌し、容器は 可及び被塗装面の汚れ を缶管理について写真、ながれ、しわ等が無 ボルトの接合部分、構 質が出荷証明書、塗 理由: 目を評価した後、以下 50%以下 80%以下	とが確認できる 見度の測定を行いの塗料を均一なれ、油類等を除る い、油類等を除る い、油類等を除る は挙で確実に空で く塗装されている 構造の複雑な部 は料成績表により	。 ハ、塗装作業を行って、 状態にしてから使り とし塗装を行ってい であることが確認できる 分について、必要な り、製造年月日、ロッ	ていることが確認できる 用していることが確認でる ることが確認できる。 きる。	きる。 ことが確認できる。					
			●判断基準 90%以上 75%以上90%未満 60%未満 60%未満 注 試験結果の打	50%以下 a a' b	a' b b' c	はらつきで判断 不可能 b b b c c c c c c c	②削除項目のある ^は (%)計算の値で評(③評価値(%)=	·()評価数/()評価対象項 呼価対象項目数が2以下の場合	数として、比率 頁目数				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 17/77ページ 別紙一3 契約管理番号: 工 事 名: (検査員) [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 考査項目 細別 工種 d 3. 出来形及 Ⅱ. 品質 トンネル 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基 工事 び出来ばえ 準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った 修補指示を行った ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・e □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば・・・・・・・d □□コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑 制等)が確認できる。 □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □□ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 □ □ 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□設計図書に定められた岩区分(支保エパターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 □□ 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 □ □ 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 □ □ 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが 確認できる。 □ □ 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 □ □ ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 □ □ 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。 □□その他(理由: ※上記該当項目を評価した後、以下のばらつきの評価をしてください。 □ ばらつき 50%以下 □ ばらつき 80%以下 口ばらつき 80%超

□ ばらつきで判断不可能

圳	쌔	Ħ	淮
≠∥	休田	悬	生

		ばらつき	で判断可能	L L	ばらつきで判断
		50%以下	80%以下	80%を超える	不可能
≡π	90%以上	а	a'	b	b
評価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	C	С
唱	60%未満	b'	С	С	С

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と する。
- 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

Dil Art	±11.06.00 ±111.1	T -				工事成績	績採点の考	音項目の考査項目別	軍用表	18/77ページ		
別紙一3	契約管理									(検査員)		
[記入方法]評価			ーク、評価項目は右[コにレマークを記入す	-る。					(1天五兵 /		
考査項目	細別	工種	a	a'	b		b'	С	d	е		
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	植栽工事	準参照>[関連基準 ※ばらつきの判断に	、土木工事施工管理				判断する。<判断基 ルた試験]	文書で指示を行った	修補指示を行った		
			●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
			□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。									
			上記該当項目があれば・・・・・・・d									
	□□活着が促されるよう管理していることが確認できる。 □□樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 □□樹木等の生育に害のある害虫等がいないことが確認できる。 □□施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 □□肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 □□植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を堀り植穴底部を耕していることが確認できる。 □□添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 □□ 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。											
			□ ばらつき □ ばらつき □ ばらつき	80%以下	のばらつきの	の評価をして	てください。					
			●判断基準				_	·				
					で判断可能	80%を超える	ばらつきで判断 不可能	O	頁目」のうち、評価対象外の項目に 場合は判除後の証価項目数を思			
			90%D F	50%以下				O	場合は削除後の評価項目数を母 価する	数として、几半		
			評 75% I:J F 90% 未満	a'	b	b'	b'			夏目数		
				b	b'	c	С		平価対象項目数が2以下の場合は			
			60%未満	b'	С	С	С	する。				
			価 値 60% 未満	b b'	b' c	C	C	④なお、削除後の記	·()評価数/()評価対象項 呼価対象項目数が2以下の場合に			

考査項目別運用表(土木)総ページ【55/108】

Dilét O	±11.06.65.TE					工事成績採点の考	音項目の考査項目別:	重用表	19/77ページ
別紙一3	契約管理								(検査員)
[記入方法]評価		•	アーク 評価項目は	右口にレマークを記入する	5.				(快直員)
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	(網)·標 識·区画 線等設置	準参照>[関連基 ※ばらつきの判[結果のばらつきと評価対 を準、土木工事施工管理を 新は別紙 – 4参照。				文書で指示を行った	修補指示を行った
		工事	●評価対象項目 □ 品質関	目 引係の測定方法又は測定(直が不適切で	あったため、検査員	が修補指示を行った。		
			上記該	3当項目があれば・・・・・・	••••е				
			□ 品質関	係の測定方法又は測定	直が不適切で	あったため、監督員	が文書で指示を行い改	で善された。	
			上記該	3当項目があれば・・・・・・	····d				
			Image	ト式(常温式)区画線に使月 の厚さが見本等で設計図 施工後の昼間及び夜間の の施工にあたって設置路 を消去の場合、表示材(マーの施工にあたって、路 の材料が、設計図書の仕	において、地にって、地にって、地にって、既を中村の書の、これのは、一切書の、これのでは、一切書の、これのでは、一切書の、これのでは、一切書の、これのでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	山の乱れや不陸がび鉄筋コンクリートび鉄筋コンクリートである。 で大阪工していることができる。 では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	生じないように施工しての規定を満足しているう施工していることが確認できる。が確認できる。が確認できる。ができる。ができる。ができるとが確認できる。とが確認できる。 を以下であることが確認できる。 を取り除いて行っている。 を取り除いて行るいであることができる。	いることが確認できる。 ことが確認できる。 認できる。 のが確認できる。 定められた強度以上であること できる。	

●判断基準

		ばらつきつ	で判断可能	_	ばらつきで判断
		50%以下	80%以下	80%を超える	不可能
=π	90%以上	а	a'	b	b
評価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
	60%未満	b'	С	С	С

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と する。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

20/77ページ

別紙一3 契約管理番号:

「=□ 1 2+1=±/==	工事名	名: 目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。										
<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	ィーグ、計画項目は a	<u> </u>	ত b	b'	С	d	e			
3. 出来形及 び出来ばえ		機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れて いる	cより優れている	他の評価に該当しない	文書で指示を行った	修補指示を行った			
			● 日本の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	関係の測定 が は い は い は い は い は い は い は い は い は い は	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あったたという。 とは、	はが文書で指示を行い改 はが文書で指示を行い改 はができる。 認ができる。 出いできる。 出いできる。 にいたがのできるるを性性を にいたできる。 にはないできる。 にはないできる。 にいたができる。 にいたができる。 はいている。 にいたができる。 はいてきる。 にいたができる。 にいたができる。 にいたができる。 できる。 にいたができる。 でが、またい。 できる。 でがした。 できる。 でがした。 できる。 でがした。 できる。 でがした。 できる。 できる。 でがした。 できる。 でき。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	すぐれていることが確認できる。 理し品質の確認ができる。 できる。 失していることが確認できる。 認できる。 る。 、確認できる。 「確認できる。 「確認できる。	·る。 計算した比率(%)			

別紙一3	契約管理	포 므.				工事成績採点の表	き査項目の考査項目別選	 里用表	21/77ページ
	工事名	;;	一ク 評価項目は	5口にレマークを記入す	- 5 .				(検査員)
考查項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れて いる	cより優れている	他の評価に該当しない	文書で指示を行った	修補指示を行った
			上 品 上 製材機操ケ設操設現設完設そ 準評評評評	係の測定方法又は測定方法又は測定方法 があれば・・・・ 関目があれば・・・ 関目があれば・・・ 関連を持続した。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	あったため、監督 におから、 監督 におから におります におります におります におります においる においる においる においる においる においる においる においる	が文書で指示を行い改 が文書で指示を行い改 ることが確認できる。)で確認できれていることが確認でき とめられていることが行われ、 を手順に合。 かるとともに、必要な安全 できにおいて、合はでいることとができない。 合さいることとができない。 「評価対象できる。 できにおいて、自然でできる。 できにおいることがでいることができます。 「評価のかることができる。 「評価のかることができる。 「評価のかることができる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「でいることができる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。 「できる。」できる。	の仕様を満足していることが認できる。 きる。 、不具合が無いことが確認で 装置及び保護装置の作動が などで確認していることが確認 はは更新)していることが確認 が確認できる。 評価対象外の項目は削除す 後の評価項目数を母数として	きる。 確認できる。 できる。 できる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

22/77ページ

別紙一3 契約管理番号:

考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е		
出来形及 び出来ばえ	出来ばえ	工事· 受変電設	優れている	bより優れている	やや優れて いる	cより優れている	他の評価に該当しない	文書で指示を行った	修補指示を行った		
		加工争 _	上記該□ 品質関	展の測定方法又は測定 当項目があれば・・・・・ 係の測定方法又は測定	・・・・・・e E値が不適切で			善された。			
			上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
				□□完成図□□完成図□□完成図□□設備全□□完成図□□	書において、設備の機書において、単体品の 体及び各機器において、 体についての取扱説明書で定期的な点検や交 構造において、点検や	能並びに性能及 製造年月日及び、設計図書に規 引書を工夫してい で換を要する部品	なび操作方法が容易が製造者が判別できる。 が製造者が判別できる。 見定した品質及び性いることが確認できる。 品及び箇所を明示し	易に判別できる資料を整作 きる資料を整備しているこ 上能を工場試験記録により	J確認できる。 。		
			評価対象外の項目は削除す 後の評価項目数を母数として F価対象項目数() 数が2以下の場合はc評価。	計算した比率(%)							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 23/77ページ 別紙一3 契約管理番号: 工 事 名: (検査員) [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 考查項目 工種 b' 3. 出来形及 Ⅱ. 品質 水道工事 び出来ばえ やや優れて cより優れている 他の評価に該当しない 優れている bより優れている 文書で指示を行った 修補指示を行った いる ●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・e □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば・・・・・・・d □ □ 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 □□ 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 □□ 材料の品質照合の結果が、品質保証書等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□管、弁類の接合部の適切性が確認できる。 □□砕石、砂材等の品質及び重点状況が品質照明・管理資料で確認できる。 □□品質計画による品質管理記録が整備されている。 □□ 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。 □□ 施工時の試験及び記録が適切である。 □□ 施工の適正が確認でき、通水状況及び気密試験、水圧試験等の記録が整備されている。 □ □ 不可視部分の写真記録が適切である。 □□ 舗装復旧工において、舗装材料の品質管理が適切にされている。 □□ 掘削残土等の処理が法令を遵守し適切に管理されている。 □□その他(理由: ●判断基準 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ※ 評価値が90%以上・・・・・ a ※ 評価値が80%以上90%未満・・・・a ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%) ※ 評価値が70%以上80%未満・・・・b 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() ※ 評価値が60%以上70%未満・・・・b' ※ 評価値が60%未満・・・・・ c ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

Du Art -	+11.41.65	≖ □				工事成績採点の考	*査項目の考査項目別	運用表	24/77ページ				
別紙一3	契約管理 工 事 名								(検査員)				
[記入方法]評価	エーザー石: [記入方法]評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。												
考査項目	細別	工種	а	a'	b b	b'	С	d	е				
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	推生地一	P質問係の試験結果のげたつきと評価対象項目の房行状況(評価値)かた判断する /判断其進										
		工事(L型	●評価対象項目						<u> </u>				
		擁壁、	□ 品質関	係の測定方法又は測定	2値が不適切で	あったため、検査員	が修補指示を行った。						
		ボックス											
		カルバー	上記該	核当項目があれば・・・・・	••••е								
		ト、ブロック積等)	口口好眼	係の測定方法又は測定	はが不済却で	もったため 貯扱員	が立まで比これないコ	t 美さわ <i>た</i>					
		フ慎寺)	□ □ 貝戌	制体の例定力法又は例定	追いい適切で	めつににめ、血自貝	【か又音で拍小を打いり	以書された。					
			上記該	ち当項目があれば・・・・・・	····d								
		上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											

	□□ 呑口、吐口□□ 施設の流末□□	を評価した後、以T 60%以下 80%以下 80%以下	付けコンク! 「生じないよ コンクリート 」に施工され ・がなく、適	リートにクラック ラック ファイン ファイン ファイン でんしょう でんしょ を出し、転切に施工され	ク等の欠陥が いる。 目部からの漏 圧が適切に ている。	がない。
<u>•</u>	判断基準	185	Jul Na - 4	.		(A) 12-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
		よらつ。 50%以下	きで判断可能 180%以下	<u>じ</u> 80%を超える	ばらつきで判断 不可能	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率
	90%以上	а	a'	b	b	(%)計算の値で評価する。
	平 75%以上90%未满	a'	b	b'	b'	③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数
	直 60%以上75%未满	b	b'	С	С	④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と
	60%未満	b'	С	С	С	する。

训紙一3	‡71 <i>65-6</i> 5-751	≖ □				工事成	績採点の考	査項目の考査項目別	運用表	25/77ページ			
和 3	契約管理番号: 工工												
			マーク、評価項目は右[<u> </u>									
考査項目	細別	工種	а	a'	b		b'	С	d	е			
出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	補強土壁工事	品質関係の試験結果 参照>[関連基準、土 ※ばらつきの判断は原	木工事施工管理基準					文書で指示を行った	修補指示を行った			
			●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。										
			上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
			上記該当	項目があれば・・・・・	d								
			□□ プレキャス □□ 現場条件 □□ 避土の締 □□ 理由: □□ 理由: □□ 理由:	計製品・材料等の品に応じた排水対策が 固め管理(密度等)が 固め管理(密度等)が 目を評価した後、以下 50%以下 80%以下 80%超	質が工場が 施工時をな が適切に実	管理資料より 含め適切に講 2施されている	的確に確認 じられてい ことが確認	る。	.ている。				
			●判断基準	. 10 2 1									
				よらつき 50%以下	で判断可能 80%以下	能 80%を超える	ばらつきで判断 不可能		頁目」のうち、評価対象外の項目! 場合は削除後の評価項目数を母				
			- 90%以上	a	a'	b	b	(%)計算の値で評		·***			
			評 75%以上90%未满	a'	b	b'	b'		=()評価数/()評価対象」				
			60%以上75%未満	b	b'	С	С	O 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	平価対象項目数が2以下の場合	はc評価と			
			60%未満	b'	С	С	С	<u>する。</u> 対象項目(評価値)だけ					

考査項目別運用表(土木)総ページ【64/108】

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 26/77ページ 別紙一3 契約管理番号: 工 事 名: (検査員) [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 考查項目 d 3. 出来形及 Ⅱ. 品質 電線共同 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基 び出来ばえ 溝工事 準参照>「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った 修補指示を行った ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・e □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば・・・・・・・d □□ 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 □ □ 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 □ □ プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 □□ 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 □□特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 □ □ 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 □□ 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □□ 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 □□その他(理由: ※上記該当項目を評価した後、以下のばらつきの評価をしてください。 □ ばらつき 50%以下 口ばらつき 80%以下 □ ばらつき 80%超 □ ばらつきで判断不可能 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ばらつきで判断 80%以下 50%以下 80%を超える ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 90%以上 a' b b (%)計算の値で評価する。 а 75%以上90%未満 a' b b' h' ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 価 60%以上75%未满 b' ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と С 値 60%未満 する。 b' С С С 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

-	+11.44.44.70					工事成	績採点の考	査項目の考査項目別週	運用表	27/77ページ		
€-3	契約管理 工事名											
入方法]評個			ーク、評価項目は右口	にレマークを記入す	する。					(検査員)		
考査項目	細別	工種	а	a'	b		b'	С	d	е		
出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	【農政部】 区画整理 (ほ場整 備)工事	品質関係の試験結果 準参照>[関連基準、 ※ばらつきの判断は	土木工事施工管理					文書で指示を行った	修補指示を行った		
			●評価対象項目 □ 品質関係 <i>0</i>)測定方法又は測り	定値が不適	切であったた	≤め、検査員	が修補指示を行った。				
		善された。										
	上記該当項目があれば・・・・・・・d											
			□□ 法面に有害 排水路の河 申 排水路の河 申 申 車 を ままま ままま ままま は ままま ままま は ままま ままま ままま ま	・ 畦畔等の締め固め ②の埋め戻し、締め 『なクラックや損傷語 とさ、勾配等が適切 は作に有害な石礫等 が大きく、又は、水路 この厚さが確保されてい 「構造物に、きめ細 同め管理(密度等)が	かが適切に 固がめない。 になない。 が立立る。 でる。 やかな施工	们に施工され ている。 など沈下が予 がうかがえる	ている。 想される箇i	所について特に入念に; できる。)	施工されている。			
	●判断基準											
				ばらつき 50%以下	をで判断可能 80%以下	<u>{</u> 80%を超える	ばらつきで判断 不可能		[目」のうち、評価対象外の項目(場合は削除後の評価項目数を母			
			90%以上	а	a'	b	b	(%)計算の値で評価				
			评 750(1) 1 500(+)#	a'	b	b'	b'		ー・リッ ()評価数/()評価対象り	頁目数		
			価 60%以上75%未満	b	b'	С	С		価対象項目数が2以下の場合			
	1		60%未満	b'	С	С	С	する。				

考査項目別運用表(土木)総ページ【66/108】

						工事成績採点の考	き査項目の考査項目別選	重用表	28/77ページ				
別紙一3	契約管理 工事名								(検査員)				
[記入方法]評価			マーク、評価項目は	占□にレマークを記入す	る。				\ 1天旦只 /				
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е				
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	【農政部】 暗渠排水 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った 修補指示を行った ※ばらつきの判断は別紙ー4参照。										
				●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。									
			上記該	当項目があれば・・・・・	••••е								
			□ 品質関	係の測定方法又は測定	値が不適切で	あったため、監督員	負が文書で指示を行い改	で善された。					
			上記該	当項目があれば・・・・・	·····d								
			□□ 管路の接続が適切に施工されている。 □□ 吸水渠、集水渠等の埋設深管理が適切に施工されている。 □□ 軟弱地盤等で暗渠排水工の効果が阻害される恐れのある個所について、阻害防止の工夫が措置されている。 □□ 被覆材が管路を中心に適切に施工されている。 □□ 溝底部が凸凹蛇行のないように施工されている。 □□ 水コウ及び集水渠等の埋め戻しが入念に施工されている。 □□ その他(理由:)										
□ ばらつき 50%以下 □ ばらつき 80%以下 □ ばらつき 80%超 □ ばらつきで判断不可能 ●判断基準													
			90%以上	ばらつき [・] 50%以下 a	で判断可能 80%以下 80% a'	ばらつきで判断 を超える ^{不可能} b		[目」のうち、評価対象外の項目 場合は削除後の評価項目数を母 而する。					
			部 75%以上90%未清 60%以上75%未清	a' b	b b'	b' b' c	③評価値(%)= ④なお、削除後の評	-					
			<u> " 60%未満</u> 注 試験結果の	b' 打点数等が少なくばらつ	<u>c</u> きの判断がで	<u>c c c</u> きない場合は評価:	│	で評価する。					

	+n <i>4L h</i> r +n =z =		工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表									
-3	契約管理番号工事名:	·:										
、方法]評価		コにレマー	-ク、評価項目は右□]にレマークを記入っ	する。					(検査員)		
査項目	細別	工種	а	a'	b		b'	С	d	е		
出来形及 が出来ばえ	Ⅱ. 品質 【農管2	水路工	品質関係の試験結! 準参照>[関連基準 ※ばらつきの判断は	、土木工事施工管理				ら判断する。<判断基 1た試験]	文書で指示を行った	修補指示を行った		
			●評価対象項目 □ 品質関係(の測定方法又は測り	定値が不適	i切であったた	∵め、検査員	が修補指示を行った。				
			上記該当項目があれば・・・・・・・e									
			□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。									
			上記該当項目があれば・・・・・・・d									
			日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	勿にきめ細やかなが 由: 評価した後、以下の %以下 %以下 %超	いることが 類切に行ってきる。 に施工され されている。 が行われ、 が均等に実 があっかた	確認できる。 ていることがでいる。 でいる。 でいる。 施されている がえる。	雀認できる 。)				
			●判断基準	145.0	+	٠		○ \\ =± [== \pi \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	TD . 0 24 - 57/74/44 0 TD	L WOLDA 7		
				はらつ5 50%以下	きで判断可能 80%以下	E 80%を超える	ばらつきで判断 不可能		頃目」のうち、評価対象外の項目に 場合は削除後の評価項目数を母			
			90%以上	a	a'	b	b	(%)計算の値で評		級として、ルギ		
			平 75%以上90%丰業	a'	b	b'	b'	. ,	/ 0。 =()評価数/()評価対象項	頁目数		
			価 60%以上75%未満	b	b'	c	c		評価対象項目数が2以下の場合			
			60%未満	b'	С	С	С	する。				



工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 30/77ページ 別紙一3 契約管理番号: 工 事 名: (検査員) [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 考查項目 細別 工種 3. 出来形及 Ⅱ. 品質 【農政部】 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基 び出来ばえ フイルダ 準参照>「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った 修補指示を行った ム・ため ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 池工事 ●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・e □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば・・・・・・・d □□ 基礎処理施工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い適切に実施されている。 □□ 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 □□ 湧水が適切に処理されている。 □ □ 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施している。 □ □ 鉄筋の組立、継手部、かぶりは工事図面に示されたとおり施工している。 □ □ 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて強度確認を行っている。 □ □ 埋設計器が設置要領に従ってされており、正常な作動が確認できる。 □ □ 刃金土や堤体の締め固めが適切に実施されていることが、工事書類等により確認できる。 □ □ グラウトエが適切に実施されていることが、工事書類等により確認できる。 □ □ その他付帯構造物は、設計図書に基づき適切に実施されている。 □□ その他(理由: ※上記該当項目を評価した後、以下のばらつきの評価をしてください。 □ ばらつき 50%以下 □ ばらつき 80%以下 □ ばらつき 80%超 □ ばらつきで判断不可能 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ばらつきで判断 50%以下 80%以下 80%を超える ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 90%以上 a' b b (%)計算の値で評価する。 75%以上90%未満 b h' ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 価 60%以上75%未满 ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と h b' С 60%未満 С する。 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

別紙一3	契約管理	番号:				工事成績採点の考	*査項目の考査項目別過	重用表	31/77ページ				
F== 3 - L \ L 3== <i>I</i>	工事名	• •			7				/ IA + B \				
<u>[記人万法]評値</u> 考査項目	1対象項目に 細別	<u>ま左□にレ▼</u>	マーク、評価項目は石 a	ロにレマークを記入す	<u>රු</u> 	b'	С	d	(検査員) e				
3. 出来形及 び出来ばえ		【農政部】 水路補修 工事 •目地補	a a a c c c c c c c										
	修工 ・断面修 ・断面修 復工 ・表面被 ・表面被 電工 ・表面被 表面被 で表示である。 ・表面被 を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を												
		・管更正 エ 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
			□ 施工後の □ での他(【開水路補修工関 □ □ 日地の対 □ □ その他(【管更正工関更正工管更同 □ □ 日各種耐利	関係】 が規定の付着強度で当該対策が適切に施工されて 理由: オが規定の付着強度で 引試験結果(曲げ強度討 D施工では弛みが無いる	ていることが確 該既設構造物にていることが確 当該既設構造場 当該既設構造場	認できる。 こ密着されているこ 認できる。 物に密着されている でしていることが確認) 6ことが確認できる。 &できる。	も適切な方法により対処したこ	ことが確認できる。				

_ 4

※上記該当項日を評価	た谷	以下のばらつきの評価をしてくナ	ごさい

- □ ばらつき 50%以下
- □ ばらつき 80%以下
- 口ばらつき 80%超
- □ ばらつきで判断不可能

●判断基準

		ばらつき	で判断可能	Ě	ばらつきで判断
		50%以下	80%以下	80%を超える	不可能
評	90%以上	а	a'	b	b
一一一	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
	60%未満	b'	С	С	С

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数
- ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

別紙一3	契約管理	采 旦.				工事成績採点の表	き査項目の考査項目別選	即表	32/77ページ
別紙一3	安村官理 工事名								(検査員)
[記入方法]評価			一ク、評価項目は	右口にレマークを記入す	る。				· NAA /
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	維持工事(清掃工,除草工,付属物	優れている	bより優れている	やや優れて いる	cより優れている	他の評価に該当しない	文書で指示を行った	修補指示を行った
		工,除雪,応急 処理等)		係の測定方法又は測定		あったため、検査員	が修補指示を行った。		
		修繕工事	上記該	当項目があれば・・・・・	••••е				
		修繕工事 (橋脚補 強, 耐震	□ 品質関	係の測定方法又は測定	値が不適切で	あったため、監督員	が文書で指示を行い改	善された。	
		補強,落橋防止		当項目があれば・・・・・	_				
		等)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□)の劣化状況をよく把握し の指示事項に対して、現)な作業において、迅速か のメンテナンスに対する !(理由: !(理由:	、で、適切な対象 現地状況を勘案 いつ適切に対応	策を施していることだ し、施工方法や構 していることが確認	が確認できる。 造についての提案を行う &できる。(維持工事)	行っていることが確認できる。 など積極的に取り組んでいる ∵が確認できる。(修繕工事)	
			※該当項目 ※該当項目 ※該当項目	が6項目以上・・・・ が5項目・・・・・ が4項目・・・・・ が3項目・・・・・ が2項目以下・・・・	• • • a' • • • b • • • b'				
			注 記載の4月	項目を必須の評価対象項	頁目とし、この他	也に適宜項目を追加	コして評価するものとする	。ただし、評価対象項目は最	大8項目とする。
	<u> </u>								

別紙一3	契約管理					工事成績採点の表	き査項目の考査項目別運	用表	33/77ページ
[記入方法]評価	対象項目は		一ク、評価項目は	与□にレマークを記入す	⁻ る。				()人
考査項目	細別	工種	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	取壊し工事	優れている	bより優れている	やや優れて いる	cより優れている	他の評価に該当しない	文書で指示を行った	修補指示を行った
			●評価対象項目 □ 品質関	係の測定方法又は測定	ー で値が不適切で	あったため、検査員	が修補指示を行った。		
			上記該	当項目があれば・・・・・	••••е				
			□ 品質関	係の測定方法又は測定	☑値が不適切で	あったため、監督員	が文書で指示を行い改	善された。	
			上記該	当項目があれば・・・・・	·····d				
			□ □ 施工計 □ □ 廃棄物	(理由: (理由:	により管理され	ている。)))		
			※該当項目:※該当項目:※該当項目:	が6項目以上・・・・ が5項目・・・・・・ が4項目・・・・・・ が3項目・・・・・・ が2項目以下・・・・	· · · a' · · · b · · · b'				

引紙一3	‡77 <i>45 4</i> 55 TER					工事成績採点の考	き査項目の考査項目別運	用表	34/77ページ
	契約管理: 工 事 名 対象項目は	:	一ク. 評価項目は	右口にレマークを記入す	る。				(検査員)
考査項目	細別	工種	a	a a	b	b'	С	d	e
. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	事	優れている	bより優れている	やや優れて いる	cより優れている	他の評価に該当しない	文書で指示を行った	修補指示を行った
			上記該	係の測定方法又は測況 <当項目があれば・・・・・	・・・・・e E値が不適切で		が修補指示を行った。 が必要で指示を行い改き	善された。	
			□□ 仮設材 □□ 周辺環 □□ 施工記 □□ 排水を □□ その他	にそり、ゆがみ、傷がな の組立・設置が確実に 境(騒音・振動・地盤変 録等により設計条件に 考慮し、良好な床付け (理由: ((理由:	なされ、かつ点 動等)に配慮し 適合した根入れ	た施工方法で実施し し長で施工されてい			
			※該当項目 ※該当項目 ※該当項目	が6項目以上・・・・ が5項目・・・・・・ が4項目・・・・・・ が3項目・・・・・・ が2項目以下・・・・	· · · a' · · · b · · · b'				

別紙一3	契約管理番	문·				工事成	績採点の考	査項目の考査項目別週	重用表	35/77ページ
が Minux O	工事名:									(検査員)
	対象項目は	左口にレマ	ーク、評価項目は	右口にレマークを記入						
考査項目	細別	工種	a	a'	b		b'	С	d	e
3. 出来形及び出来ばえ		珊工、筋 工、伏工 工事	準参照>[関連基	結果のばらつきと評価 基準、土木工事施工管: 新は別紙-4参照。					文書で指示を行った	修補指示を行った
			●評価対象項目 □ 品質関	目 関係の測定方法又は測	定値が不適	切であったた	∠め、検査員	が修補指示を行った。		
			上記該	₹当項目があれば・・・・	•••••					
			□ 品質関	係の測定方法又は測	定値が不適	切であったた	≥め、監督員	が文書で指示を行い改	で善された。	
			上記該	3当項目があれば・・・・	d					
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	による崩落を防止する 考慮し、良好な床付け おける地山とのすりつ 育成に配慮した丁寧な に破損や病害虫がなく の特徴、要点を理解し は理由: は理由: まを評価した後、以下の 50%以下 80%以下	備されている を形、階段水 たが、 では で に に に に に に に が な 施 に さ が た 施 植 れ な 施 た が た に さ が た が た に た が た た が た た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	る。]付が行われ 策が実施さ ている。 かい注意が れている。 肥の施工に 意工夫が見	たおり、障害れている。 うかがえる。 あたり、苗木 られる。	ぞとなる根株、転石等が の育成に配慮した丁寧))	除去されている。 な施工がなされている。	
1			●判断基準							
					きで判断可能		ばらつきで判断 不可能	O	[目」のうち、評価対象外の項目	
			0007 121 1	50%以下	80%以下	80%を超える		_	易合は削除後の評価項目数を母 エナス	一致として、比率
			90%以上 75%以上90%未	a 尚 a'	a' b	<u>b</u> b'	b b'	(%)計算の値で評価	四9句。 ()評価数/()評価対象エ	
			価 6004 PJ 1-7504 +3		b'	С	С	_	()評価数/()評価対象/ 『価対象項目数が2以下の場合	
			値 60%未満	b'	C	C	c	する。	「艸ヘラ灸セスのメメ゚ムの゚。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	осет IIII С
	1)打点数等が少なくばら				7 00		

36/77ページ 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 別紙一3 契約管理番号: 工 事 名: (検査員) [記入方法]評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 考查項目 細別 工種 d 3. 出来形及 Ⅱ. 品質 土工事 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基 (農地造 び出来ばえ 準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った 修補指示を行った 成.) ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●評価対象項目 □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・e □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば・・・・・・・・d □ □ 伐開・除根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。 □ □ 仮設道路、仮排水路等は、設計図書により施工・管理されており、その出来高についても適切に管理され設計以上であることが確認できる。 □ □ 雨水等による崩落、土砂の流亡等を防止するための排水対策が実施されている。 □ □ 表土のはぎ取りにあたり、雑物等が混入しないよう注意すると共に、表土の基礎への混入や逸散の防止等に細心の注意を払って施工 されている。 □ □ 造成、整地等は設計図書等に基づき施工されており、仕上がりについては基準値を満足している。 □ □ 道路の造成にあたり、横断勾配、土質等について設計図書等に基づき適切に施工されており、仕上がりについても基準値を満足している。 □ □ 土壌改良に使用する肥料は法律に基づく保証票が確認でき、施工は仕様書等に基づき細心の注意を払っている。 □ □ 畦畔、溝畔等は設計図書に基づき施工されており、仕上がりは規格値を満足している。 □□ その他(理由: □□ その他(理由: ※上記該当項目を評価した後、以下のばらつきの評価をしてください。 □ ばらつき 50%以下 □ ばらつき 80%以下 □ ばらつき 80%超 □ ばらつきで判断不可能 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ばらつきで判断 50%以下 80%以下 80%を超える 不可能 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 90%以上 a' b (%)計算の値で評価する。 b 75%以上90%未満 b b' ③評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 価 60%以上75%未満 b' ④なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価と b С 60%未満 する。 С C 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

59

Dil 6tt O	圳仏佐田巫					工事成	績採点の 考	き査項目の考査項目別	運用表	37/77ページ		
別紙一3	契約管理番·	亏:								/ 		
「== 1 + 2+ 1=π/==	工事名: ************************************		5 部体节口件	ナロル・マークを記る	 7					(検査員)		
<u>[配入万法]評細》</u> 考査項目	<u>対象項目は左</u> 細別	<u>:ロにレマー</u> 工種	<u>- 7、評価項目は</u> a	<u>右口にレマークを記入</u> a'	<u>၅၈.</u> h		h'	С	d	e		
ろ <u>る</u> 3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質 材	事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った 修補指示を行 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。									
		-	※ ● は 評 は 評 は 評 は 評 は 評 は 評 は 評 は 評 は 評 は	断は別紙 - 4参照。 関係の測定方法れば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定 ・ 定 ・ 定 ・ 定 ・ 定 ・ 定 ・ によいのよ査はを高い ・ で ・ はうにはのよ査はを高い ・ はいのよろはで ・ はいのよろはで ・ はいのよろはで ・ はいのよろはで ・ はいのように ・ はいのまた ・ はいのま	i切 根に前合管適予まによ 評 は は は で	ため が適ないの実はに当まれた。 はいのでは、から、が適なのでは、では、では、のでは、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	はが修補指示を行った。 はが文書で指示を行いる。 はが文書で指示を行いる。 に搬出段でいる。 のためエしている。 でができる。 が文書で指示を行いる。 にかれている。 をれている。 をなれている。 をなれている。 をなれている。 をなれている。 をなれている。 をなれている。 をなれている。 をなれている。 できなれて地でできれている。 できないで施工できます。 のがは、できないでできまれて理されて理されて理されて理されて理されて理である。 のがは、できまでは、できまない。 のができまれている。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができまない。 のができない。 のがで。 のがで。 のがで。 のがで。 のがで。 のがで。 のがで。 のがで	要された。 正している。 確認できる。 いる。 されており仕上がりも基準値を されており仕上がりも基準値を でいる。	ま削除する。 数として、比率 頁目数		
			`	ナー トルトゲールションナック・ビュ	- + A VIII bler	18-1-1-1	요 ᄉ /ㅗᆖ;/ㅠ.	対象項目(評価値)だけ	ーニルナフ			

Dul 4rt O	±11.44.44.70					工事成績採点	の考査項目の考査項目別	 運用表	38/77ページ
別紙-3	契約管理 五								(検査員)
			一ク、評価項目は右	5口にレマークを記入	<u>する。</u>				
考査項目	細別	工種	а	<u>a′</u>	b	b'	С	d	е
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ. 品質	木材木製 品工事 (木ダム、 木橋、木	準参照>[関連基	結果のばらつきと評価 達、土木工事施工管 所は別紙ー4参照。			から判断する。<判断基 られた試験]	文書で指示を行った	修補指示を行った
		土留工、 木流路工 等)	●評価対象項目 □ 品質関		定値が不適切	であったため、検査	全員が修補指示を行った	0	
		1 7	上記該	当項目があれば・・・・	·····e				
			□品質関	係の測定方法又は測り	定値が不適切	であったため、監督	肾員が文書で指示を行い	改善された。	
			上記該	当項目があれば・・・・	·····d				
			□□ 仕様書 □□ 組み立 □□ 木材・オ □□ 部品・ホ □□ 木材・オ	で定められている品質 て等のボルト等の締め 、製品どうしの接続が! 材料等の品質及び形状 、製品による地山及び (理由: を評価した後、以下の 50%以下 80%以下 80%超	管理が実施さ 付けが確認で 良好で規定ども が設計図書等 構造物との取り	れている。 きる。 らり施工されている そとの適切性を確 り合いまたはすり			
			●判断基準						
			2 13A122-1	ばらつ	で判断可能	ばらつきでき	①当該「評価対象	は項目」のうち、評価対象外の項目	は削除する。
				50%以下	80%以下 8)%を超える ^{不可能}		る場合は削除後の評価項目数を母	}数として、比率
			評 90%以上	a	a'	b b	(%)計算の値で記		
			75%以上90%未満	<u> </u>	b	b' b'		=()評価数/()評価対象	
			值 60%以上75%未满 60%未满	b b'	b'	C C	(4)なお、削除後の する。	評価対象項目数が2以下の場合	IJC評価と
				<u> </u>	С	СС	୨ ର 🌣		

考査項目別運用表(土木)総ページ【80/108】

別紙一3	契約管理	番号:				工事成績採点の表	き査項目の考査項目別運	用表	39/77ページ
	工事名								(検査員)
				右口にレマークを記入す		b'		1	_
考査項目	細別	工種	а	a′ a′	b	D	С	d	e
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ.品質	上記以外 の工事(情 報ボック	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	文書で指示した	修補指示した
		ス,浚渫工事等)	●評価対象項目 □ 品質関] 係の測定方法又は測算	定値が不適切で	あったため、検査員	が修補指示を行った。		
		又は 合併工事		当項目があれば・・・・					
		<a:ばら つき評価 不適切></a:ばら 		係の測定方法又は測算 当項目があれば・・・・		あったため、監督員	が文書で指示を行い改善	きされた。	
			□□理由: □□理由: □□理由:						
			□□ <u>埋由:</u> □□ <u>理由:</u> □□理由:						
			□□ <u>理由:</u> □□ <u>理由:</u> □□ <u>理由:</u>						
			※ 評価値 ※ 評価値 ※ 評価値	が90%以上・・・・ が80%以上90%未満 が70%以上80%未満 が60%以上70%未満 が60%未満・・・・	· · · · · a' · · · · · b · · · · · b'				

は 工事 上記該当I ばら 評価 □ 品質関係(> 上記該当I	a' のばらつきと評価ダ 木工事施工管理基 別紙-4参照。 の測定方法又は測 項目があれば・・・・	b 対象項目の履 注集、その他記 に値が不適 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行状況(評値 設計図書に定 切であったた	Eめられた試覧 とめ、検査員だ		d 文書で指示した	(検査員) e 修補指示した
種 a A A A A A A A A A A A A A A A A A A	a' のばらつきと評価ダ 木工事施工管理基 別紙-4参照。 の測定方法又は測 項目があれば・・・・ の測定方法又は測	b 対象項目の履 注集、その他記 に値が不適 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行状況(評値 設計図書に定 切であったた	- (Table 1) (T	断する。<判断基準 検] が修補指示を行った。	文書で指示した	-
以外 品質関係の試験結果(参照>[関連基準、土: 参照>[関連基準、土: ※ばらつきの判断は別 ●評価対象項目 □ 品質関係の は エ事 ばら ロー 品質関係の 上記該当 に対しる に	のばらつきと評価対 木工事施工管理基 引紙-4参照。 の測定方法又は測 項目があれば・・・・ の測定方法又は測	対象項目の履 連、その他記 対定値が不適り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行状況(評値 設計図書に定 切であったた	- (Table 1) (T	断する。<判断基準 検] が修補指示を行った。	文書で指示した	-
事(情 参照 > [関連基準、土 注 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	木工事施工管理基 別紙-4参照。 の測定方法又は測 項目があれば・・・ の測定方法又は測	送準、その他部一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	受計図書に定	Eめられた試覧 とめ、検査員だ	験]		修補指示した
●評価対象項目 □品質関係(は工事 はら	項目があれば・・・ の測定方法又は測	・・・・・・e 定値が不適 ^も				善された。	
□□ <u>理由:</u> □□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□理由:							
●判断基準	ばらつ	きで判断可能		げらつきで判断	①当該「評価対象項目	ョ」のうち、評価対象外の項目は	は削除する。
	50%以下	80%以下	80%を超える	不可能			
= 90%以上	а	a'	b	b			
	a'	b	b'	b'			
值 60%以上75%未满	b	b'	С	С		西対象項目数が2以下の場合は	tc評価と
60%未満	•	С	С	С	する。		
	□□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□理由: □□ 注	□□理由: □□はは はらつ 50%以下 30%以下 40%以下 40%以下 40%以下 40%以下 50%以下 50%以下 50%以下 50%以下 50%以下 50%以下 50%以下 40%以下 40%以下 40%以下 40%以下 40%以下 50%以下	□□理由: □□相由: □□はらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%以下 a a' b □□は上75%は上90%未満 a' b □○の以上75%未満 b b' c	□□理由: □□ならればらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%以下 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%以下 80%を超える 80%以下 80%以下 80%以下 80%以下 80%が正式 80%以下 80%を超える 80%以下 80	□□理由: □□は由: □□はからからが以下 80%以下 80%を超える ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	□□理由: □□注由: □□注目: □□注□: □□:□□注□: □□注□: □□:□□:□□:□□:□□:□□:□□:□□:□□:□□:□□:□□:□	□□理由: □□α[α]α[α]α[α]α[α]α[α]α[α]α[α]α[α]α[α]α[

	+7.44.66.70			工事成	績採点の考査項目の考査項目別週	·····································	41-42/77ページ
別紙一3	契約管理 工 事 名						(検査員)
[記入方法]該	当する項目σ	□にレマー					
考査項目	細別	工種	а	b	С	d	
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ	コンク リート構	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
		造事・構事構事ルエ防エ山エネ事	●評価対象項目 □ コンクリート構造物の表 □ コンクリート構造物の通 □ 天端仕上げ、端部仕上げ □ クラックが無い。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・・・ b 該当3項目・・・・・ c 該当2項目以下・・・ d	りが良い。)		
		工種	а	b	С	d	
		土工事(盛土・築	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
		提工事 等)	●評価対象項目 □ 仕上げが良い。 □ 通りが良い。 □ 天端及び端部の仕上げ □ 構造物へのすりつけなど □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・b 該当2項目以下・・・d)		

Dil 6tt O	‡71 <i>6</i> 14 645 TER	亚口		工事成	績採点の考査項目の考査項目別選	三 用表	43-45/77ページ
別紙-3	契約管理工事 名	奋 号∶ i∶					(検査員)
[記入方法]該当	する項目の	ロにレマー	クを記入する。		,		
考査項目	細別	工種	а	b	С	d	
3. 出来形及 び出来ばえ	世. 出来ばえ	切土工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			□ 法面勾配の変化部につい □ 滞水などによる施工面の		「行われている。	5 .	
		 工種	<u>該当2頃日以下・・・ロ</u> a	h	C	d	
		護岸・根固・水制		 やや優れている	他の評価に該当しない	 劣っている	
		工事	●評価対象項目 □ 通りが良い。 □ 材料のかみ合わせがよる □ 天端及び端部の仕上げ。 □ 既設構造物とのすりつけ □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・・ b 該当2項目・・・・ c 該当1項目以下・・・ d	が良い。 が良い。)		
		鋼橋工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			●評価対象項目 □ 表面に補修箇所が無い。 □ 部材表面に傷及び錆が □ 溶接に均一性がある。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・・ b 該当1項目以下・・・ d)		

別紙一3	契約管理	番号:		工事成績	債採点の考査項目の考査項目別	重用表	46-48/77ページ
[記入方法]該	工事名	:	カたコルナス				(検査員)
考査項目	細別	工種	ツを記入する。 a	b	С	d	
3. 出来形及 び出来ばえ		地すべり 防止工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			●評価対象項目 □ 地山との取り合いが良し □ 天端、端部の仕上げが月 □ 施工管理記録などからっ □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由:	良い 。	が伺える。		
			●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・d				
		工種	а	b	С	d	
		舗装工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			●評価対象項目 □ 舗装の平坦性が良い。 □ 構造物の通りが良い。 □ 構造物へのすりつけ等が □ 雨水処理が良い。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・・ b 該当3項目・・・・ c 該当2項目以下・・・ d	が良い。)		

工種	а	b	С	d	
法面工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
	評価対象項目 □ 通りが良い。 □ 植生、吹付等の状態が □ 端部処理が良い。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由:)		
	『阿季学 亥当3項目以上・・・a 亥当2項目・・・・・b 亥当1項目・・・・・c 亥当項目なし・・・・d				

考査項目別運用表(土木)総ページ【87/108】

	川紙-3	契約管理			工事成績	責採点の考査項目の考査項目別:	重用表	49-51/77ページ	
Л	ヴ末氏一 3	工事 名						(検査員)	
1	記入方法]該当					<u></u>			
Ļ	考査項目	細別	工種	а	b	С	d		72
3	3. 出来形及 び出来ばえ	世. 出来ばえ	基礎工事 (地盤改 良等を含	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
			む)	●評価対象項目 □ 土工関係の仕上げが良 □ 通りが良い。 □ 端部及び天端の仕上げ。 □ 施工管理記録などからる □ その他(理由: ※地盤改良はc評価とする。 ●判断基準 該当3項目以上・・・ a 該当2項目・・・・ b 該当項目なし・・・ d		が伺える。)			
			工種	а	b	С	d		73
			コンク リート橋 上部工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
				●評価対象項目 □ コンクリート構造物の表記 □ コンクリート構造物の通過 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 支承部の仕上げが良い。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・・ b 該当3項目以下・・・ d	りが良い。 が良い。)			

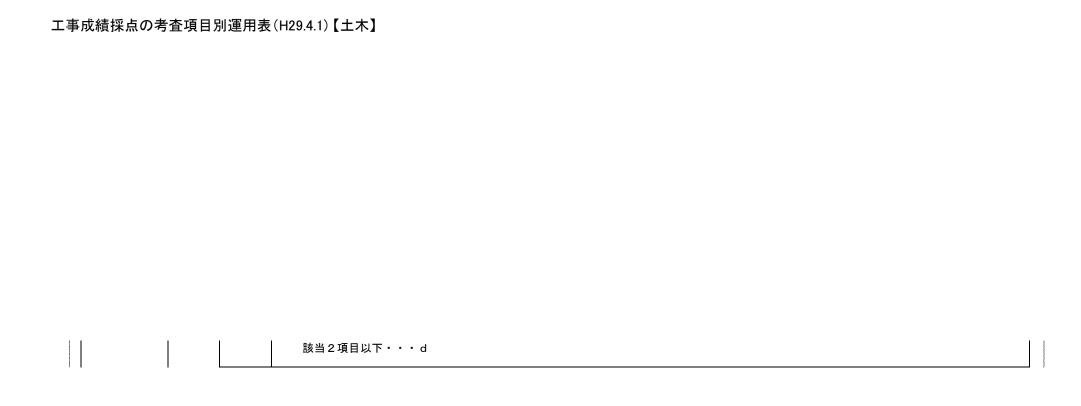
工種a	b	С	d	
塗装工事 (工場塗 優れている 装を除く)	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
●評価対象項目 □ 塗装の均一性が良い。□ 細部まできめ細かなが □ 補修箇所が無い。□ ケレンの施工状況が負 □ 全体的な美観が良い。□ その他(理由: ●判断基準 該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・・ b 該当2項目・・・・ c 該当1項目以下・・・ d	エがされている。 .好である。)		

考査項目別運用表(土木)総ページ【89/108】

別紙一3	契約管理			工事成績	責採点の考査項目の考査項目別	運用表	52-54/77ページ (検査員)	
[記入方法]該当			-クを記入する。				(),	
考査項目	細別	工種	а	b	С	d		75
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ	植栽工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
			●評価対象項目 □ 樹木の活着状況が良い。 □ 支柱の取り付けがきめ細 □ 支柱の取り付けが堅固で □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由:	∄かく施工されている。)			
			●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・ c 該当項目なし・・・・d					
		工種	а	b	С	d		76
		防護柵 (網)工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
			●評価対象項目 □ 通りが良い。 □ 端部処理が良い。 □ 端部処理が良い。 □ 部材表面に傷及び錆が。 □ 既設構造物等とのすりつ □ きめ細やかに施工されて □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・・ b 該当3項目以下・・・ d	けが良い。)			

工種	а	b	С	d	
標識工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
	●評価対象項目 □ 設置位置に配慮がある。 □ 標識板の向き並びに角別 □ 標識板の支柱に変色が □ 支柱基礎が入念に埋め。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由:	度及びその支柱の通りが良い 無い。	•		
	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d				

刂紙一3	±11.64.645.TE	亚口		工事成	:績採点の考査項目の考査項目別運	用表	55-57/77ペ ー ジ	
	契約管理工事 名	i:	<i>5+=</i> 7.3. <i>→</i> 7				(検査員)	
<u>に人力法」談:</u> 考査項目	ョ 9 る項日の 細別	工種	<u>クを記入する。</u> a	b	c	d		
出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来	区画線工 事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
			●評価対象項目 □ 塗料の塗布が均一である □ 視認性が良い。 □ 接着状態が良い。 □ 施工前の清掃が入念に □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由:)			
		- 15.	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・ b 該当2項目・・・・ c 該当1項目以下・・・ d					
		工種 下水道工	a	b	С	d		
		事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
			□ 管渠の通りが良い。 □ 人孔壁(現場打ち)の肌が □ インバートの仕上げが平 □ 舗装(復旧)の平坦性が □ 漏水、クラック等がない □ 更正管内にシワ、弛み、に □ 管口仕上げ部において、□ 取付管口せん孔仕上げに □ その他(理由: □ その他(理由: □ その他(理由: □ その他(理由: □ その他(理由: □ その他(理由: □ ・	□ 管渠の接合部の仕上げがきめ細かく施工されている。 □ 管渠の通りが良い。 □ 人孔壁(現場打ち)の肌がよい。 □ インバートの仕上げが平滑で通りがよい。 □ 舗装(復旧)の平坦性がよく、人孔蓋等のすりつけがよい。 □ 漏水、クラック等がない □ 更正管内にシワ、弛み、はく離、漏水、変形等の欠陥や異状箇所がない。 □ 管口仕上げ部において、浸入水、仕上げ材のはく離、ひび割れ等の異状がない。 □ 取付管口せん孔仕上げにおいて、形状、寸法、整形等の異状がない。 □ その他(理由:) □ その他(理由:)				
			●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・・b					



工種	а	b	С	d	
機械設備工事	i 優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
	□ きめ細かな施工がなされ □ 土木構造物、既設設備	にている。	されており、運転操作性が良い。 されている。)		
	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・・b 該当2項目・・・・・c 該当1項目以下・・・d				

	+n // /			工事成績		運用表	58-59/77ページ
別紙一3	契約管理 工 事 名						(検査員)
[記入方法]該当			-クを記入する。				, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
考査項目	細別	工種	а	b	С	d	
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	電気設備 工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			□ 動作状態において、電気 □ ケーブル等の接続方法.	確保、環境及び維持管理等へ いの及び機械的な異常が無く、	総合的な機能及び運用性が良い	o	
		工種	а	b	С	d	
		電気通信 設備工 事・受変	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
		電設備工事	□ 公共物として、安全性の □ 動作状態において、電気	が全体的に協調及び統制され	総合的な機能や運用性が良い。 、総合的な性能向上への配慮が	なされている。	

別紙-3 [記入方法]該当	契約管理: エ 事 名 する項目の	:	クを記入する。	工事成	績採点の考査項目の考査項目別週	厘用表	60/77ページ (検査員)
考査項目	細別	工種	а	b	С	d	
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			□ 消火栓、制水弁が桝・筐□ 配水管位置、深さが施コ	きめ細かな施工がなされているの中心に設置され、設置高さ の中心に設置され、設置高さ 計画通り施工されている。 录等から不可視部分の出来栄 里がよい。	も計画通り施工されている。		

別紙一3	契約管理工事名	i :	6 +-73 + 7	工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表				
[記入方法]該当 考査項目	<u>する垻日の</u> │ 細別	工種	<u>ツを記入りる。</u> a	b	С	d		
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ	二次製品構造物	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
			●評価対象項目 □ 構造物の通りがよい。 □ 材料の連結、かみ合わせ □ 天端仕上げ、端部仕上げ □ クラックがない。 □ 漏水がない。 □ 土工の仕上げが良い。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当4項目 ※評価項目の該当3項目 ※評価項目の該当2項目	ず等が良い。 目以上・・・・・・a 目以上・・・・・・b 目・・・・・・・c)			
		工種	a	b	С	d		
		補強土壁工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
			●評価対象項目 □ 壁面材(コンクリート製品 □ 基礎上面の平坦性が良 □ 天端仕上げ、端部仕上げ □ 壁面材の目違い、段差が □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当4項目 ※評価項目の該当2項目 ※評価項目の該当1項目	い。 ず等が良い。 が少なく構造物の通りが良い。 目以上・・・・・・a 目・・・・・・・・b 目・・・・・・・・・・c)			

考査項目別運用表(土木)総ページ【97/108】

別紙一3	契約管理工事 名			工事成績	漬採点の考査項目の考査項目別類	重用表	63-64/77ページ (検査員)
[記入方法]該当	する項目の	ロにレマー	クを記入する。				(
考査項目	細別	工種	а	b	С	d	
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ	電線共同 溝工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
				蓋に、がたつきや不要な隙間		まされている 。	
			該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・・c 該当項目なし・・・・d				
		工種	a	b	С	d	
		【農政部】 区画整理 (ほ場整	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
		備)工事	●評価対象項目 □ 土工の仕上げが良い。 □ 線的構造物の通りが良し □ 付帯構造物等へのすり。 □ 道路、水路等の路面や □ 位上げ整地が良い。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当5項目 ※評価項目の該当3項目 ※評価項目の該当2項目	Oitが良く、小構造物にきめ細 ま面の仕上げが良い。	 やかな施工がなされている。 		

別紙-3	契約管理			工事成績	責採点の考査項目の考査項目別	運用表	65-66/77ページ	
[記入方法]該当	エ事名						(検査員)	
考査項目	39 る項目の 細別	工種	で a	b	С	d		88
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ	「曲」た立の】	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
●評価対象項目 □ 吸水渠及び集水渠等の通りが良い。 □ 田面復旧の状態が良い。 □ 時畔及び排水路堤塘復旧の状態が良い。 □ 排水路への接続にきめ細やかな施工がされている。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由:) ●判断基準 ※評価項目の該当4項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
		工種	a	b	С	d		8
		【農政部】 管水路工 事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
			●評価対象項目 □ 接合状態が良い。 □ 特合状態が良い。 □ 管内外面に補修痕等が □ 小構造物にも細心の注 □ 管理設位置が適当であ。 □ 施工管理記録等から不 □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当4項[※評価項目の該当3項[※評価項目の該当1項[意が払われている。 る。 可視部分の出来ばえの良さが 目以上・・・・・・a 目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	伺える。)			

考査項目別運用表(土木)総ページ【99/108】

別紙-3	契約管理			工事成績	漬採点の考査項目の考査項目別週	重用表	67-68/77ページ	
[記入方法]該当	エ 事 名		力な記しする				(検査員)	
考查項目	細別	工種	つを記入する。 a	b	С	d		9
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ	【農政部】 フィルダ ム・ため	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
		池工事	●評価対象項目 □ ±工の仕上げが良い。 □ ±工の通りが良い。 □ 吹付け(植生、コンクリート構造物の通 □ コンクリート構造物の通 □ 天端仕上げ、い。 □ 漏水がない。 □ 施設の通りが良い。(排□ 全体的(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当3項項 ※評価項目の該当2項	りが良い。 ず等が良い。 水側溝、フェンス等) 目以上・・・・・・ 目以上・・・・・・・ 目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)			
		工種	a	b	С	d		9
		【農政部】 水路補修 工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている		
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●評価対象項目 □ 有害なクラック、気泡、コート構造物(分水工、分水の上上げが良い。) □ 既設構造物とのすりつについる美観が良い。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当3項 ※評価項目の該当2項 ※評価項目の該当1項 ※評価項目の該当項目	(枡)等にも注意が払われていたけが良い。目以上・・・・・・a目以上・・・・・b目以上・・・・・・b	ర ం			



別紙-3 [記入方法]該当	契約管理: 工 事 名	:	h≮≅⊒ l → Z	工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表					
考査項目	細別	工種	アを記入する。 a	b	С	d			
1. 出来形及 び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ	コンク リートニ 次製品エ	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている			
		事(L型操クスパロ等) (L型操ク ブ () () () () () () () () () (●評価対象項目 □ 土工の仕上げが良い。 □ 構造物の通りがよい。 □ 材料の連結、かみ合わ □ 天端仕上げ、端。 □ クラックがない。 □ 全体的な美観が良い。 □ 全体的体(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当4項項 ※評価項目の該当2項	げ等が良い。 目以上・・・・・a 目以上・・・・・b 目・・・・・・c					

工種	a	b	С	d	
維持修繕工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
	●評価対象項目 □ 小構造物等にも注意が対象では、	にている。)		

考査項目別運用表(土木)総ページ【103/108】

別紙-3	契約管理			工事成績	責採点の考査項目の考査項目別近	重用表	71-73/77ページ
[記入方法]該	エ 事 名 3する項目 <i>の</i>		-クを記入する。				(検査員)
考査項目	細別	工種	а	b	С	d	g
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来 ばえ	取壊し工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
					・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
			●判断基準 ※評価項目の該当3項 ※評価項目の該当2項 ※評価項目の該当1項 ※評価項目の該当項目	≣······b ≣······c			
		工種	а	b	С	d	9
		仮設工工 事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			●評価対象項目 □ 鋼矢板・親杭の通りが良 □ 覆工版にがたつきがない □ 鋼矢板のかみ合わせ等 □ 全体的な美観が良い □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当3項 ※評価項目の該当1項 ※評価項目の該当1項 ※評価項目の該当項目	ヽ。 不良部分がない。 目以上・・・・・・a 目・・・・・・・b 目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)		

考査項目別運用表(土木)総ページ【104/108】

工種	а	b	С	d				
柵工、筋 工、伏工 工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている				
	 ●評価対象項目 □ とおりがよい □ 材料の連結、かみ合わせがよい □ 構造物へのすりつけがよい □ 全体的な美観が良い □ その他(理由: 							
	●判断基準 ※評価項目の該当3項目以上・・・・・・・ ※評価項目の該当2項目・・・・・・・・・・ ※評価項目の該当1項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							

別紙一3	契約管理	i:	A+=0.7 + 7	74/77ページ (検査員)			
[記入方法]該当 考査項目	<u>する頃目の</u> │ 細別	<u>□にレマー</u> 工種	<u>'クを記入する。</u> a	b	C	d	
	Ⅲ. 出来 ばえ		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			●評価対象項目 □ 切盛の勾配が確保され □ 整地、均平の仕上げが □ 畦畔、溝畔等の仕上げが □ 構造物へのすりつけが □ 植生、吹き付け等の状 □ 排水路の通りが良い。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該該当3項 ※評価項目の該当2項	がよい。 よい。 態が均一である。)		

考査項目別運用表(土木)総ページ【106/108】

別紙一3	契約管理			工事成績	責採点の考査項目の考査項目別運	用表	75-76/77ページ (検査員)
[記入方法]該当			クを記入する。				(快直員 /
考査項目	細別	工種	a	b	С	d	
3. 出来形及 び出来ばえ	田. 出来 ばえ	林道土工 工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
			 ●評価対象項目 □ 切取勾配が確保され、法面の仕上げがよい。 □ 盛土勾配が確保され、法面の仕上げがよい。 □ 道路の形状(綿形、拡幅、縦、横断勾配、土側溝) □ 構造物へのすりつけ及び良質土砂等の流用状況 □ 土工の仕上げがよい。 □ 全体的な美観が良い。 □ 残土処理等が適切である。 □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当5項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
		工種	a	b	С	d	
		木材木製 品工事 (木ダム、	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
		木橋、木 土留工、 木流路工 等)	●評価対象項目 □ 通りがよく、バランスが低 □ 金具等規格にあったもの □ 形状・寸法等が確保され □ コンクリート構造物への □ 地山への密着性が確保 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: ●判断基準 ※評価項目の該当5項 ※評価項目の該当3項 ※評価項目の該当2項	Dが使用され統一性がよい。 n統一性が良い。 すり付け等がよい。 され仕上げがよい。 目以上・・・・・・a 目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・)		

別紙-3	契約管理: エ 事 名 する項目の	:	クを記入する。	工事成	績採点の考査項目の考査項目別選	用表	77/77ペ ー ジ (検査員)
考査項目	細別	工種	a	b	С	d	
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅲ. 出来	上記以外 の工事	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	
		又は合併工事	●評価対象項目 □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 期	見目で評価を行う。ただし、評 値	五対象項目は最大5項目とする。		

考査項目別運用表(土木)総ページ【108/108】